

2019年度 試行的事業

2020年度より本格実施予定

2019年度 社会福祉士・精神保健福祉士 全国統一模擬試験 受験者への

進路意向等アンケート調査結果（速報）

（現役学生7,000人の進路意向）

令和2年3月12日



日本ソーシャルワーカー教育学校連盟

JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

◆ アンケート調査の概要・趣旨・対象・倫理的配慮等 ◆

【アンケートの目的およびアンケート実施主体】

本アンケートは、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が、養成校在校者及び既卒者の進路意向及び就労の状況を把握し、今後の福祉人材確保対策推進及び社会福祉分野への進学推進の参考資料、今後のソーシャルワーク教育の充実のための参考資料とすることを目的として、実施するものである。なお、本調査で得たデータは、統計的処理をしたうえで報告書等で公表することとし、個人が特定できる形式での公表はしない。

【アンケートの対象と倫理的配慮】

本アンケートの対象は、日本ソーシャルワーク教育学校連盟が実施する「2019 年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」の受験者とし、マークシート形式のアンケート用紙に回答する。回答はすべて統計的に処理し、個別の氏名、学校名、受験番号、各自の模擬試験の得点、問題の解答番号等は公表しない。また、上記目的以外の使用はしない。

また、本アンケートへの回答は任意とし、回答の有無あるいは内容によって、回答者に不利益が生じない。本アンケートへの回答をもって、趣旨への同意を得たものとする。

本アンケート調査は、2019年度は試行的に実施したものの、本調査結果を踏まえ、質問項目を精査の上、2020年度から本格実施する予定（毎年実施を検討中）。

◆ 回収率・方法等 ◆

【方法】

- 2019年10月26日から11月3日の間で本連盟が実施した「2019年度 社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」の受験者9,186人を対象に、模擬試験終了後、各会場においてアンケートを記入する時間を確保し、試験問題冊子の巻末に掲載したアンケート項目についてマークシートにより回答。

【回収率、集計対象等】

- 受験者9,186人のうち、進路意向等アンケート質問項目にすべて無回答だった948人を除外し、8,238人の回答を有効回答とした（有効回答率89.7%）。
- 本速報値は、有効回答8,238人のうち、本連盟会員校が設置した会場で受験した主に現役学生7,048人の回答を対象に集計した。

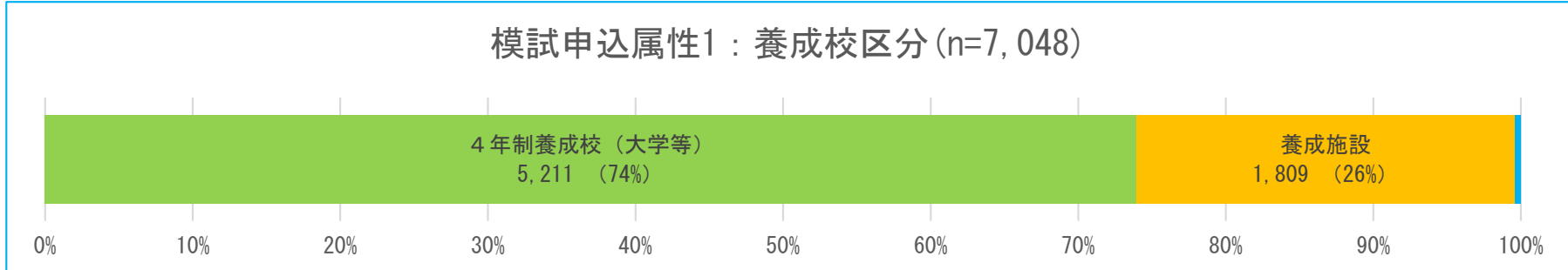
注）在宅での受験者1,190名の回答は大半が既卒者であることから、在学する現役学生の進路意向に関するトレンドを把握する観点から、在宅受験者を本速報の集計から除外している。

【アンケート項目】（巻末資料参照）

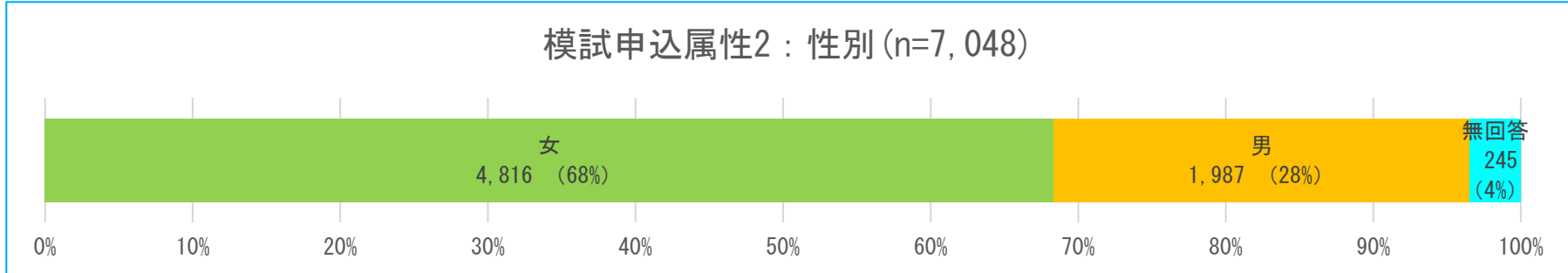
- Q1 あなたの年齢（年代）を選んでください。
- Q2 国家試験の受験予定について、当てはまるものを1つを選んでください。
- Q3 上記Q2で1又は2を選んだ方にお伺いします。受験予定の国家試験を選んでください。（複数回答可）
- Q4 あなたは学校（養成校）で実習（社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を得るために必要な実習）を行いましたか？当てはまるものを1つを選んでください。
- Q5 あなたが学校（養成校）で実習を行った分野をすべてを選んでください。（複数回答可）
- Q6 就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の選択にあたり、実習の経験から肯定的な影響（実習経験と同様の就職先を選ぶ）を受けましたか、それとも否定的な影響（実習経験と同様の就職先を避ける）を受けましたか。当てはまるもの1つを選んでください。
- Q7 上記Q6で1、2、3、4（5以外）を選択した方にお伺いします。誰または何から影響を受けたかについて当てはまるものを選んでください。（複数回答可）
- Q8 上記Q6で1または2を選択した方にお伺いします。就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の選択に関して、当てはまるもの1つを選んでください。
- Q9 あなたが社会福祉分野の学校（養成校）で学ぶことを目指した（意識した）年代を1つを選んでください。
- Q10 あなたが社会福祉分野の学校（養成校）で学ぶことを目指した理由を選んでください。（複数回答可）
- Q11 あなたが社会福祉分野への就労を目指した（意識した）年代を1つを選んでください。
- Q12 あなたが社会福祉分野での就労を目指した理由を選んでください。（複数回答可）
- Q13 あなたが社会福祉分野への就労や学校（養成校）を目指した際、周囲に否定的な反応を示した方はいましたか。当てはまる人を選んでください。（複数回答可）
- Q14 あなたの現在の就職、就職活動の状況を1つを選んでください。
- Q15 上記Q14で2を選択した方にお伺いします。本年度に内定が出た時期を1つを選んでください。
- Q16 上記Q14で1または2を選択した方にお伺いします。就労形態を1つを選んでください。
- Q17 あなたの就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の分野を1つを選んでください。
- Q18 あなたの就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の運営主体を1つを選んでください。
- Q19 あなたが就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた体験のうち、当てはまるもの3つまでを選んでください。
- Q20 あなたが就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた人のうち、当てはまるもの3つまでを選んでください。
- Q21 あなたが就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）を選ぶ上で重視することについて、当てはまるもの5つまでを選んでください。
- Q22 就職（就労されている方は転職）に関する情報をどこから得ていますか。（複数回答可）
- Q23 就職（就労されている方は転職）に関する情報を得るために、便利だと思うものはなんですか。（複数回答可）

■ 模擬試験受験申込にかかる属性～その①

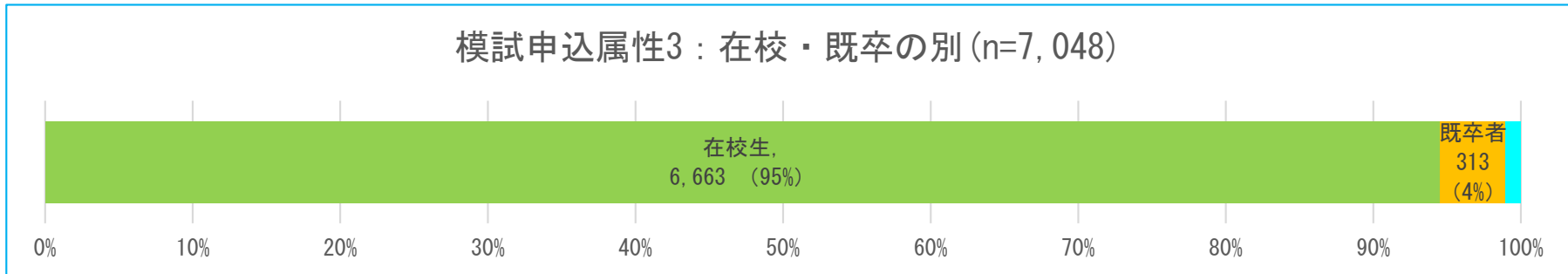
1. 養成校区分は、4年制の大学等が74%、養成施設が26%であった。



2. 性別は、女性が68%、男性が28%、無回答が4%であった。

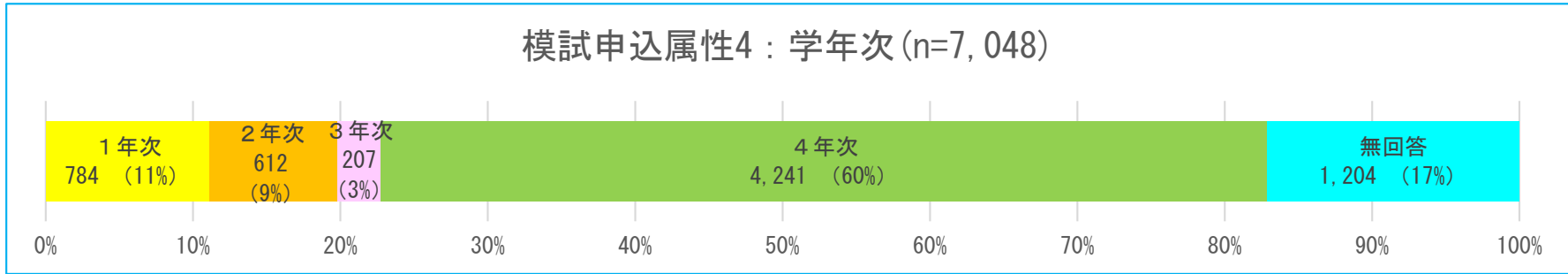


3. 在校・既卒の別は、在校生が95%、既卒者が4%であった。

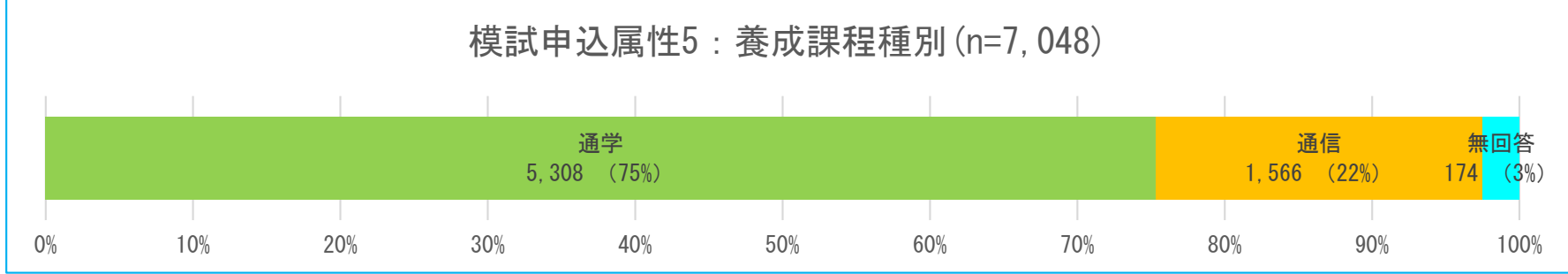


■ 模擬試験受験申込にかかる属性～その②

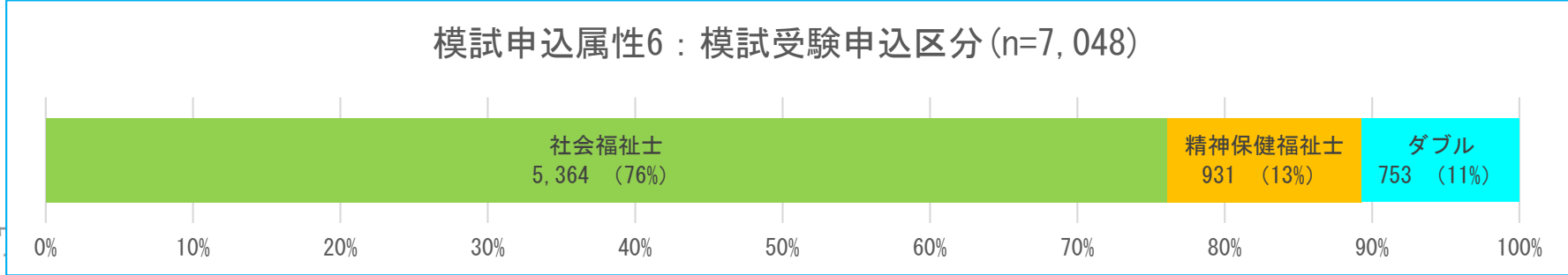
4. 学年は、4年次が60%と最も多く、次いで1年次が11%、2年次が9%、3年次が3%であった。また、【属性1. 養成校区分】と【属性4. 学年次】をクロス集計したところ、4年次の99%は4年制大学、1年次と2年次の約9割が養成施設、3年次の8割強が4年制大学であった。



5. 養成課程種別は、通学が75%、通信が22%、無回答が3%であった。

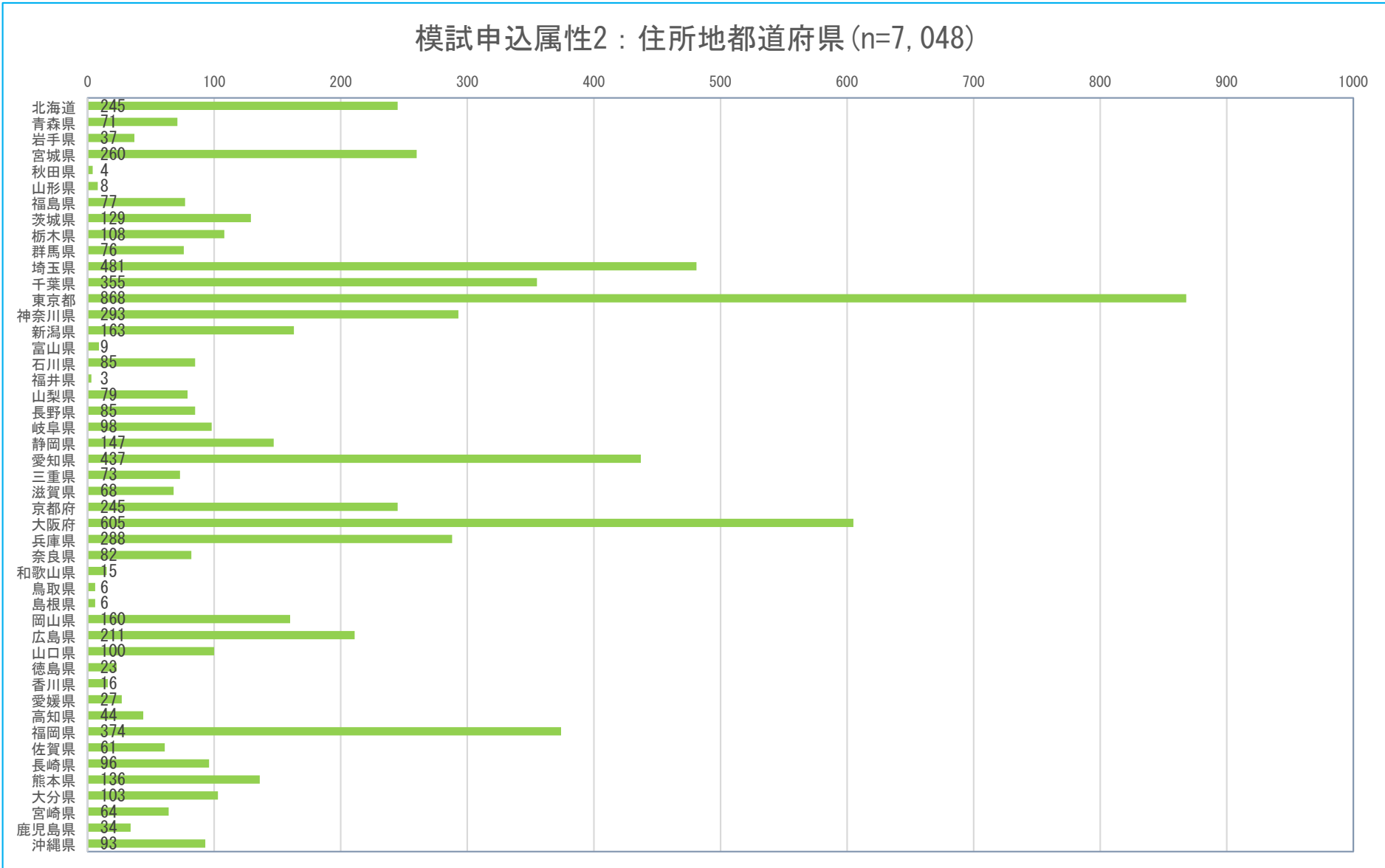


6. 模擬試験申込区分は、社会福祉士のみ受験が76%、精神保健福祉士のみ受験が13%、社会福祉士と精神保健福祉士のダブル受験が11%であった。



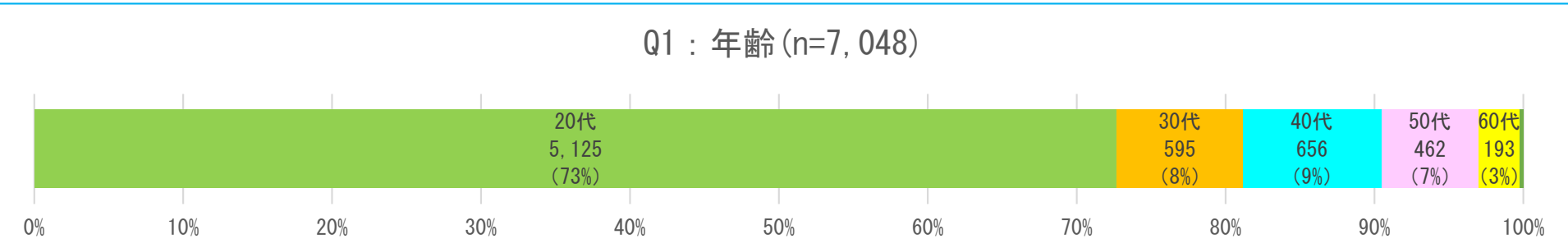
■ 模擬試験受験申込にかかる属性～その③

7. 居住する都道府県は、養成校が多い都道府県、とりわけ都市部が多く、養成校が少ない都道府県は受験者が少ない。

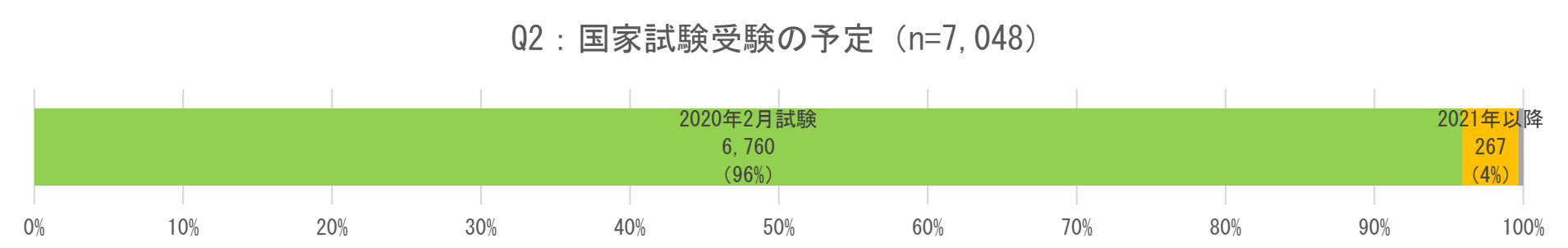


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その①

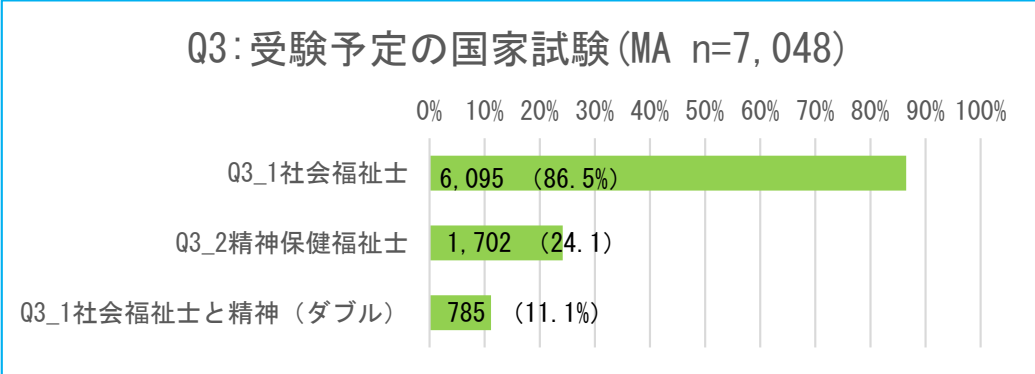
Q 1. 年齢は20代が73%と最も多く、次いで40代が9%、30代が8%、50代が7%、60代が3%であった。



Q 2. 国家試験受験の予定は、2020年2月実施の試験の受験予定者が96%、2021年以降の試験の受験予定者は4%であった。

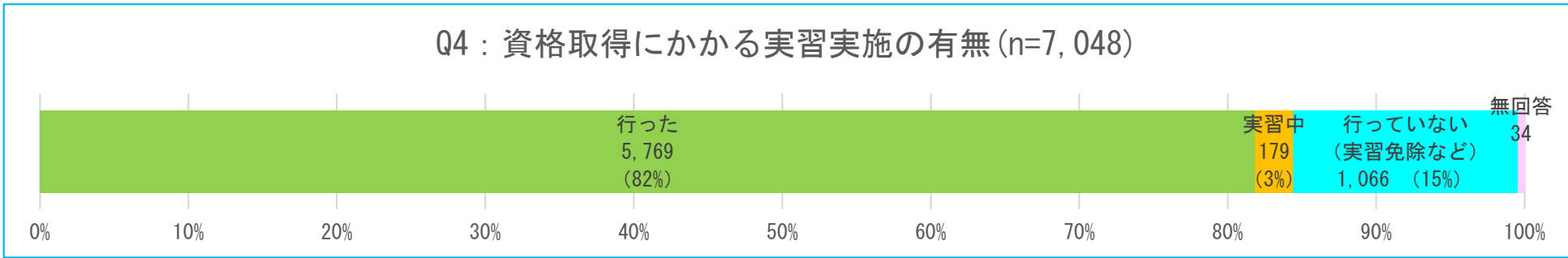


Q 3. 受験予定の国家試験は、社会福祉士が86%、精神保健福祉士が24%、社会福祉士と精神保健福祉士のダブル受験予定者は11%であった。

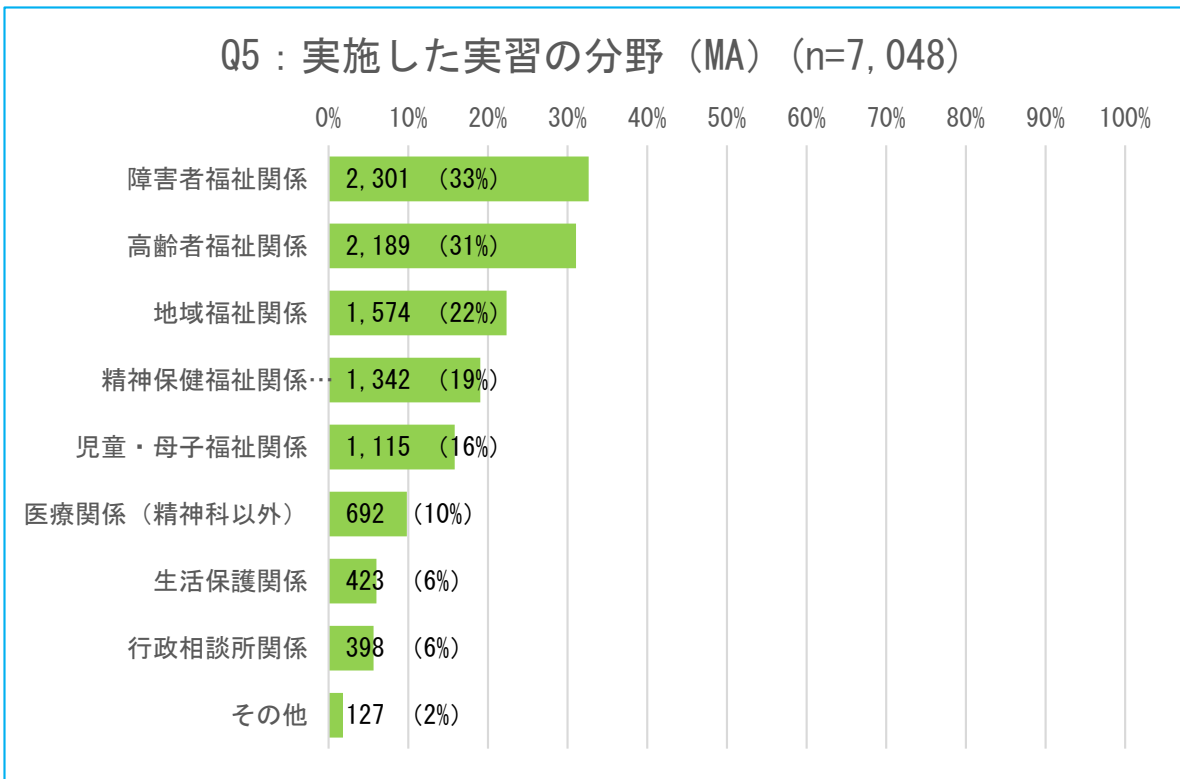


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その②

Q 4. 資格取得にかかる実習実施の有無を聞いたところ、本アンケート調査を実施した10月下旬時点で、「1. 行った」と回答した者は82%、「2. 実習中」の者が3%、「3. 実習免除などにより実習を行っていない」は15%であった。



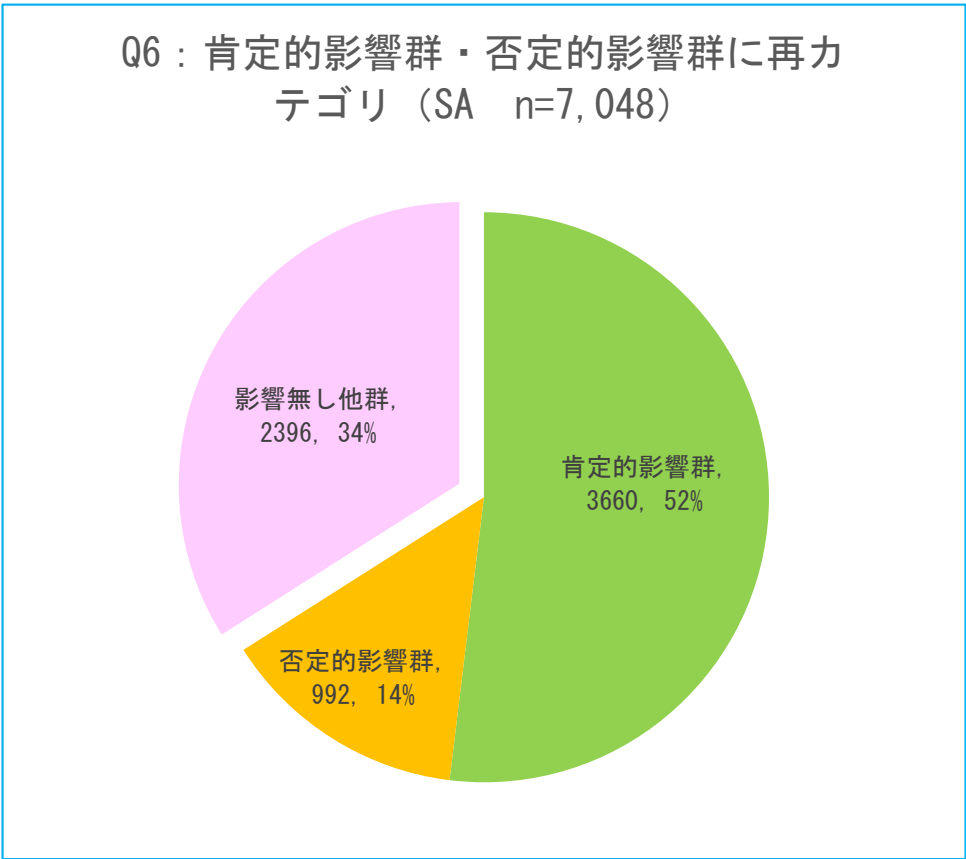
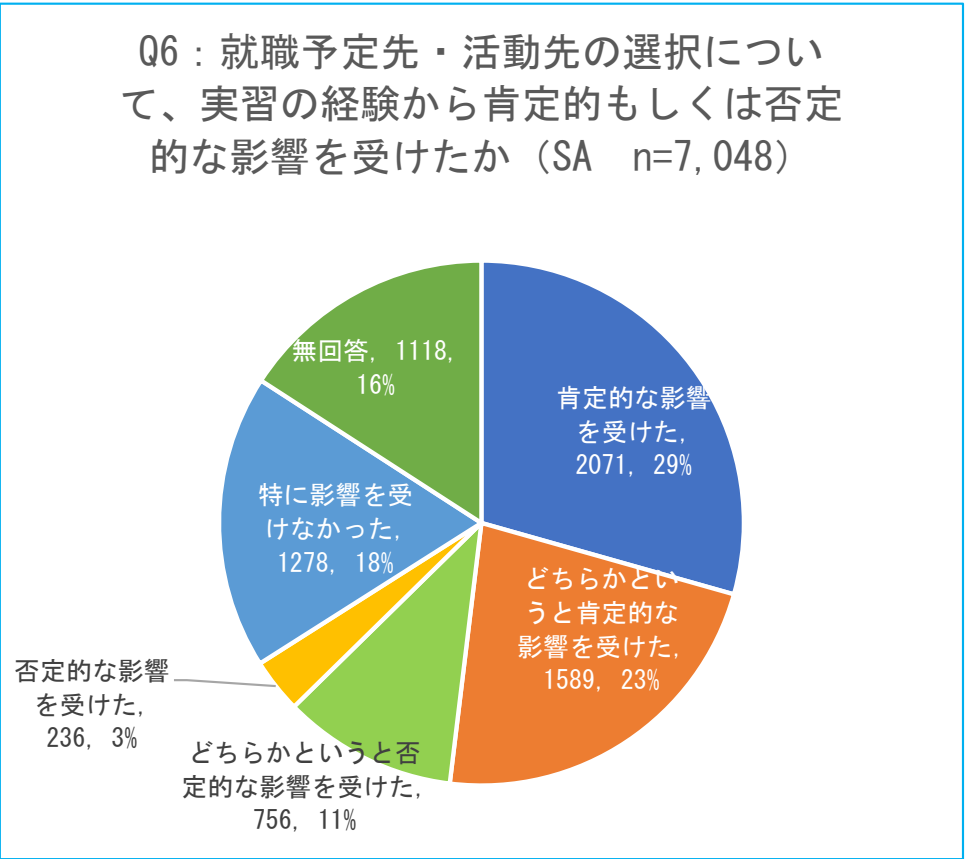
Q 5. 実施した実習の分野は、障害者施設と高齢者施設がそれぞれ3割強と多く、次いで地域福祉関係22%、精神保健福祉関係19%、児童関係16%、医療関係10%、生活保護関係6%、行政相談所関係6%の順であった。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その③

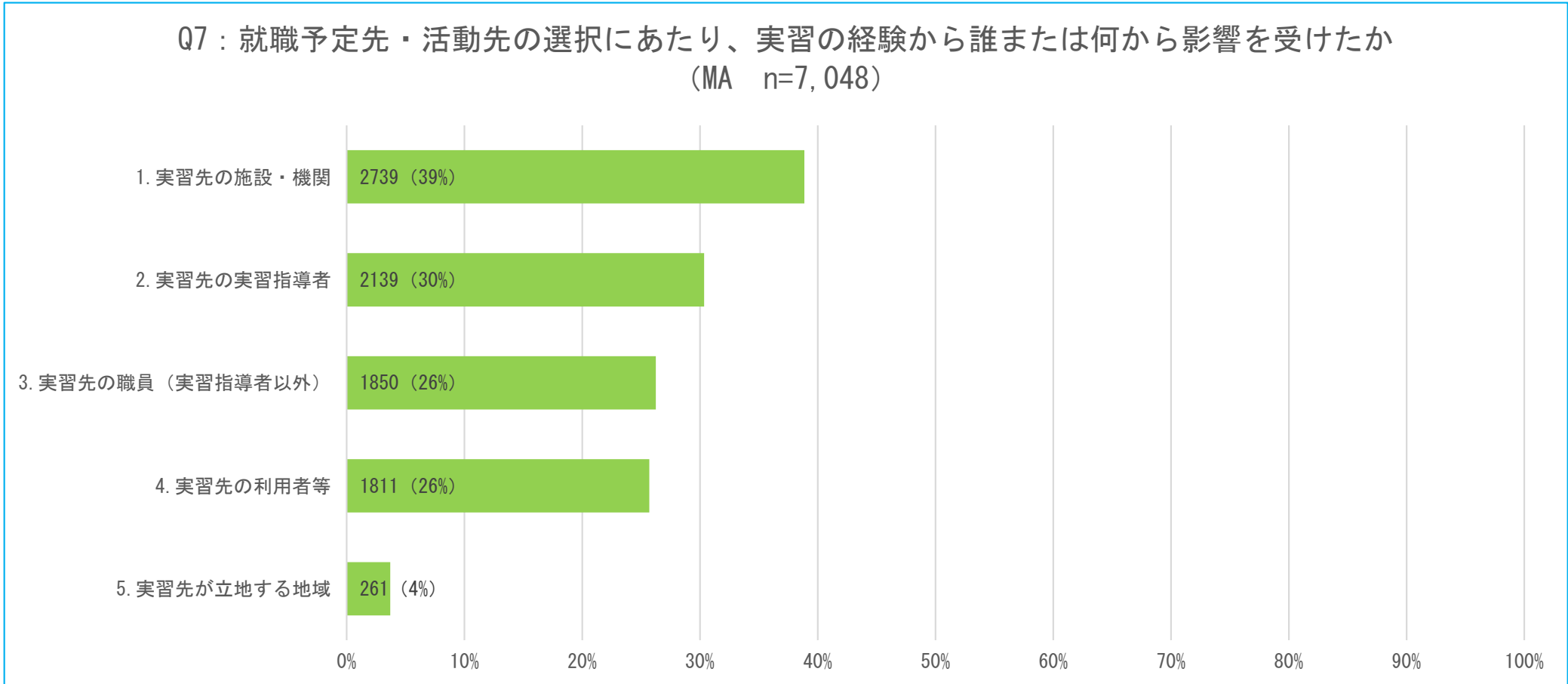
Q 6. 就職予定先・就職活動先の選択にあたり、実習の経験から肯定的または否定的な影響を受けたか聞いたところ、肯定的な影響を受けた者は29%、どちらかというとな肯定的が23%、否定的な影響を受けた者は3%、どちらかというとな否定的が11%、特に影響を受けなかった者は18%であった。

Q 6-再. 左記データを肯定的影響群、否定的影響群、影響なし他群に再カテゴリ化したところ、肯定的影響群は約半数の52%、否定的影響群は14%で、**全体の66%（4,652名）が実習の経験が就職先選択に何らかの影響を受けていた。**



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その④

Q 7. Q 6で、就職先選定にあたり実習の経験が肯定的または否定的な影響を受けた者のうち、実習の経験で誰または何から影響を受けたか聞いたところ、「1. 実習先の施設・機関」と回答した者が39%で最も多く、次いで「2. 実習先の実習指導者」が30%、「3. 実習先の職員（実習指導者以外）」、「4. 実習先の利用者等」がそれぞれ26%となっており、「5. 実習先が立地する地域」は4%と少ない。



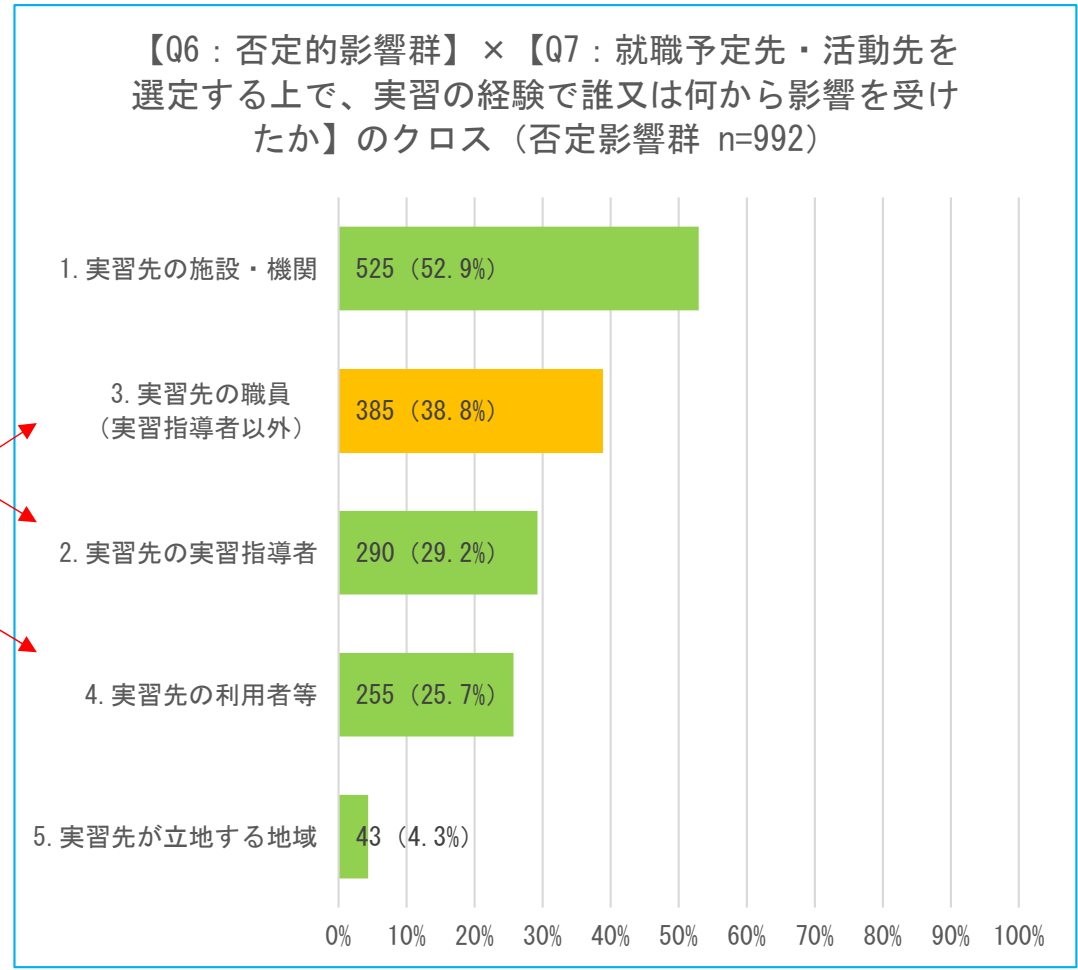
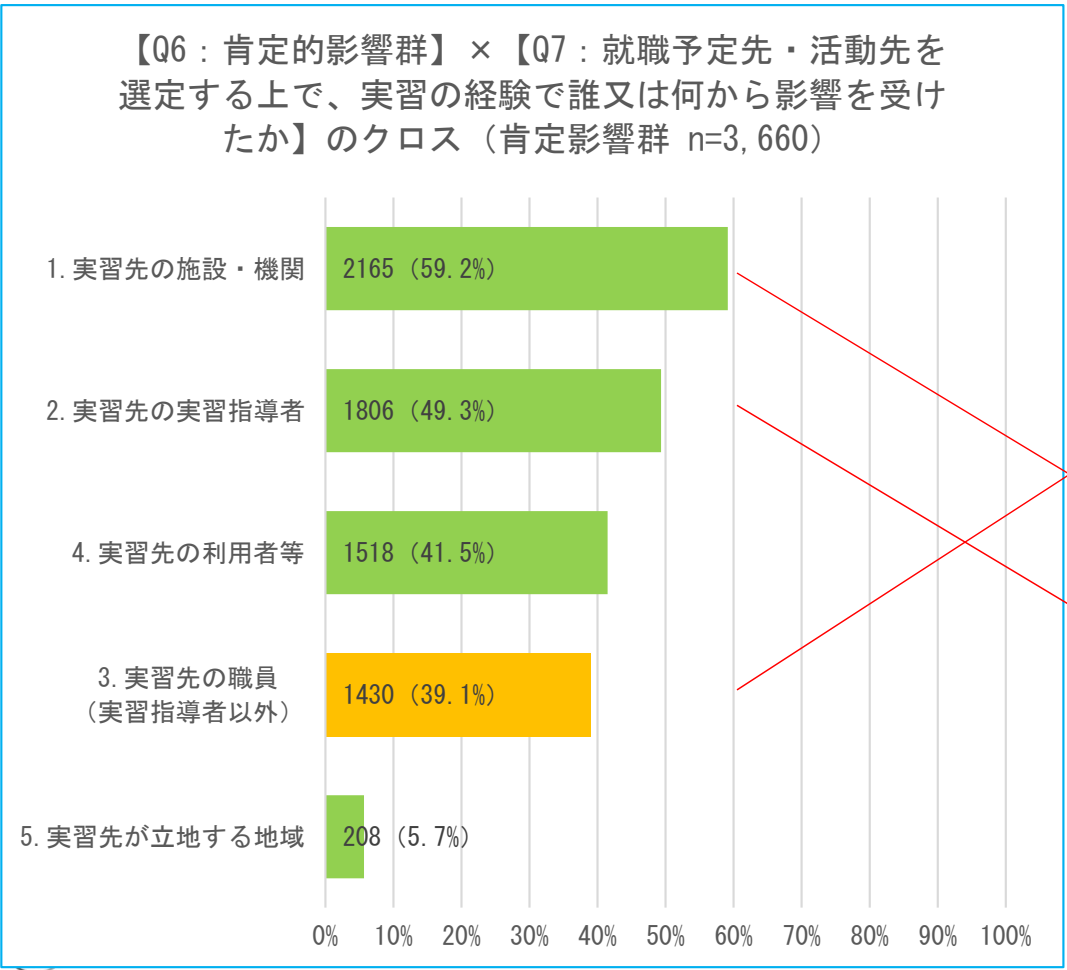
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑤（クロス集計）

【Q6：肯定的または否定的影響群】 × 【Q7：就職予定先・活動先を選定する上で、実習の経験で誰又は何から影響を受けたか】のクロス

【Q6：肯定的または否定的影響群】 × 【Q7：就職予定先・活動先を選定する上で、実習の経験で誰又は何から影響を受けたか】でクロス集計を行ったところ、肯定的・否定的ともに「1. 実習先の施設・機関」から影響を受けたと答えた者が最も多いが、「3. 実習先の職員（実習指導者以外）」では、肯定的影響群は第4位（39.1%）であるが、否定的影響群では第2位（38.8%）となっており、「2. 実習先の実習指導者」や「4. 実習先の利用者等」よりも順位が高くなっている。

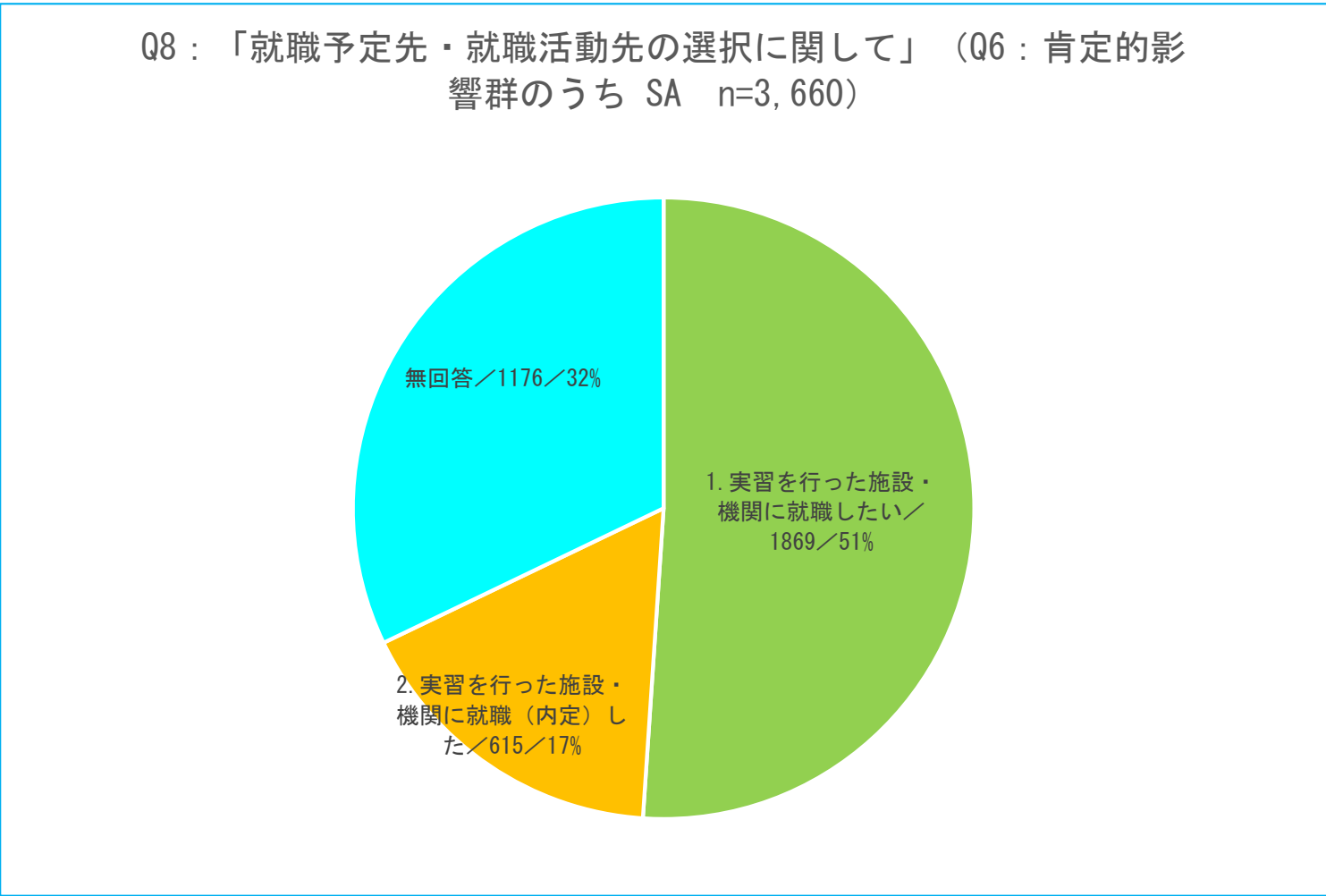
【Q6-1：肯定的影響群】

【Q6-2：否定的影響群】



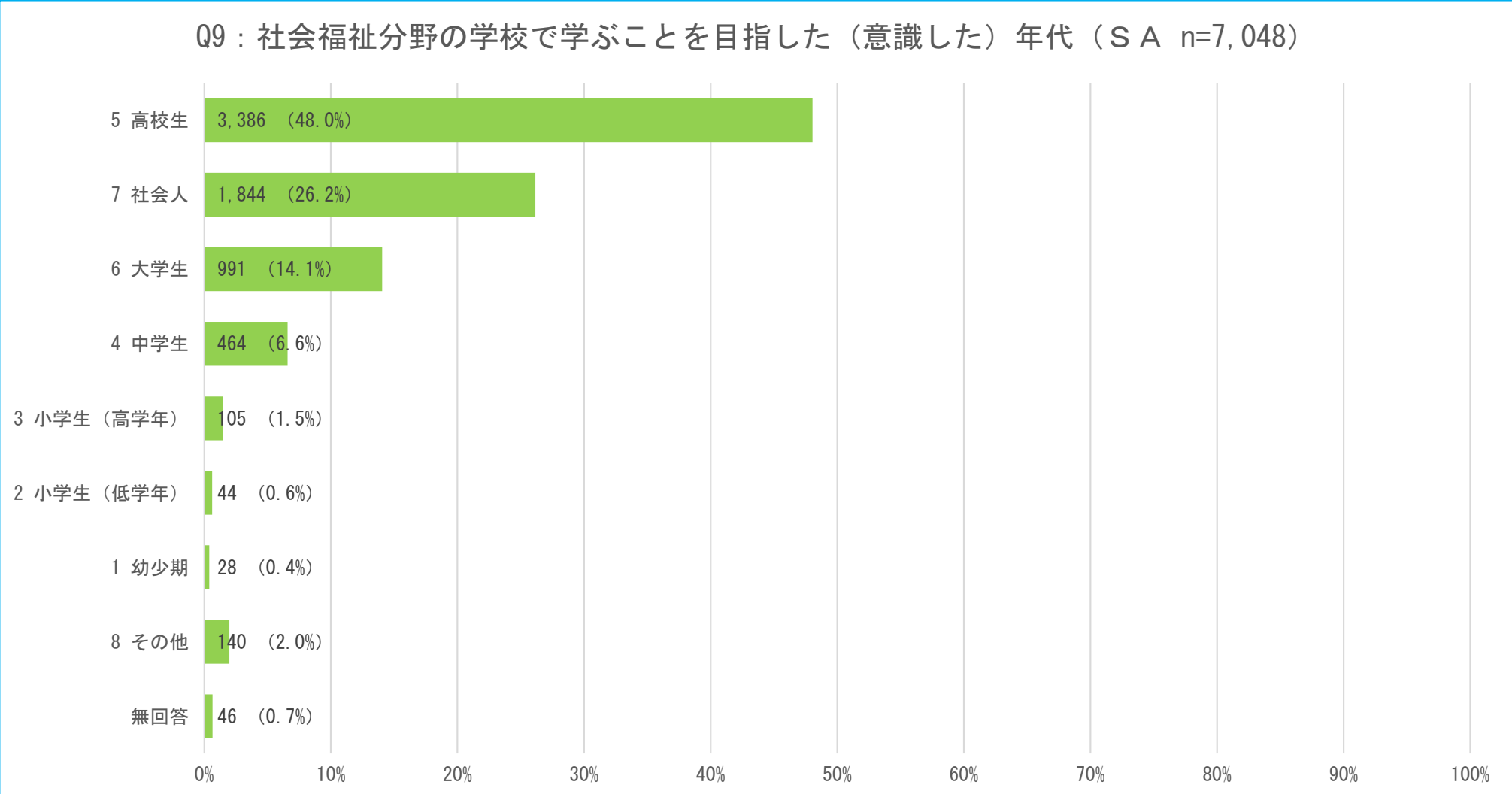
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑥

Q 8. Q 6で、「1. 肯定的な影響を受けた」「2. どちらかというとな肯定的な影響を受けた」と回答した者（肯定的影響群 n=3,660）のうち、就職予定先・活動先として「1. 実習を行った施設・機関に就職したい」を回答した者は半数以上の51%であった。また、実際に「2. 実習を行った施設・機関に就職（内定）した」と回答した者は17%で、実習の経験において就職先選定にあたって肯定的な影響を受けた者の約7割は、実習を行った施設・機関に「就職したい」または「就職（内定）した」と回答している。



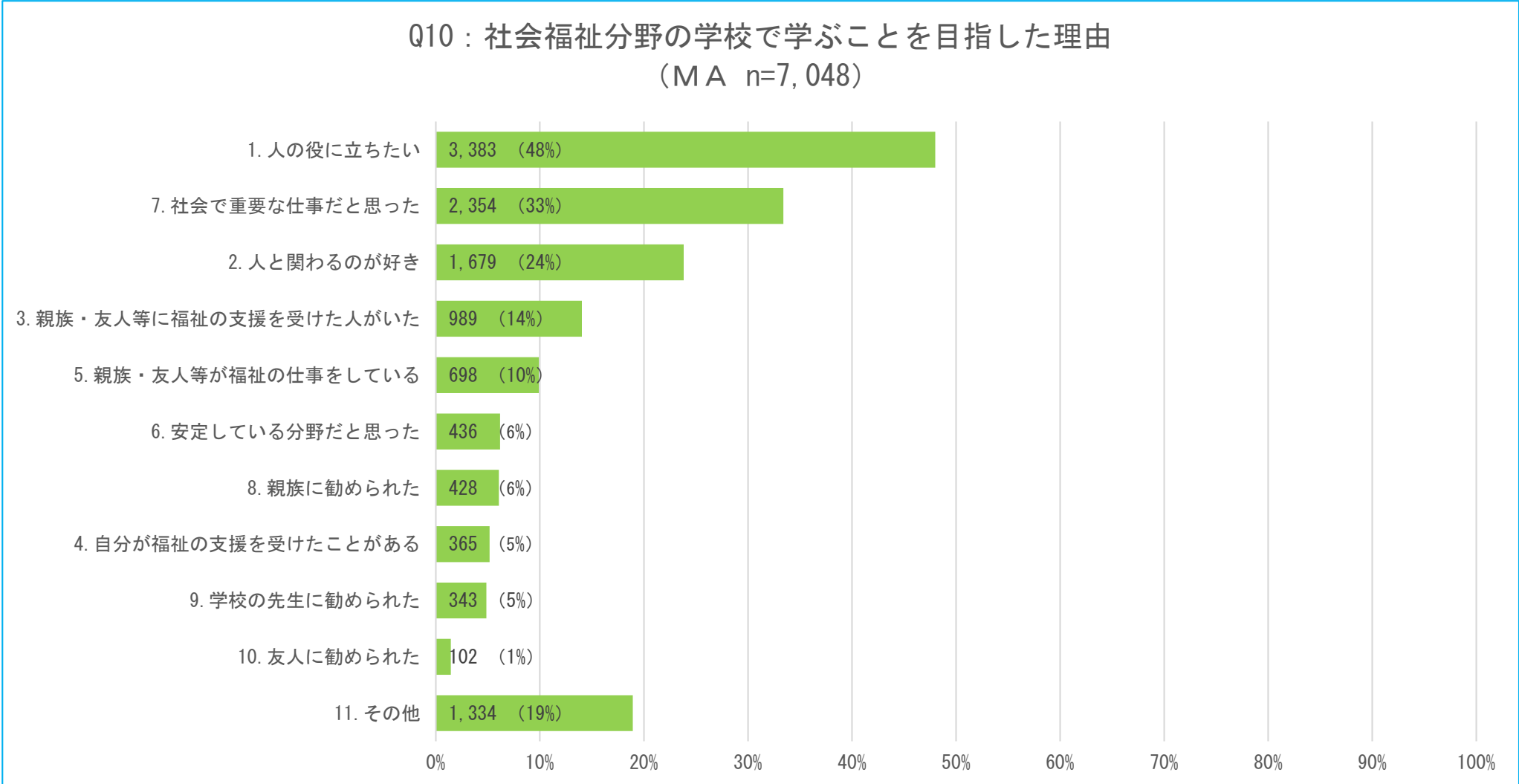
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑦

Q9：社会福祉分野の学校（養成校）で学ぶことを目指した（意識した）年代を聞いたところ、「5. 高校生」と回答した者が48%で最も多く、次いで社会人26%、大学生14%、中学生7%の順であった。小学生以下と回答した者はいずれも2%未満であった。



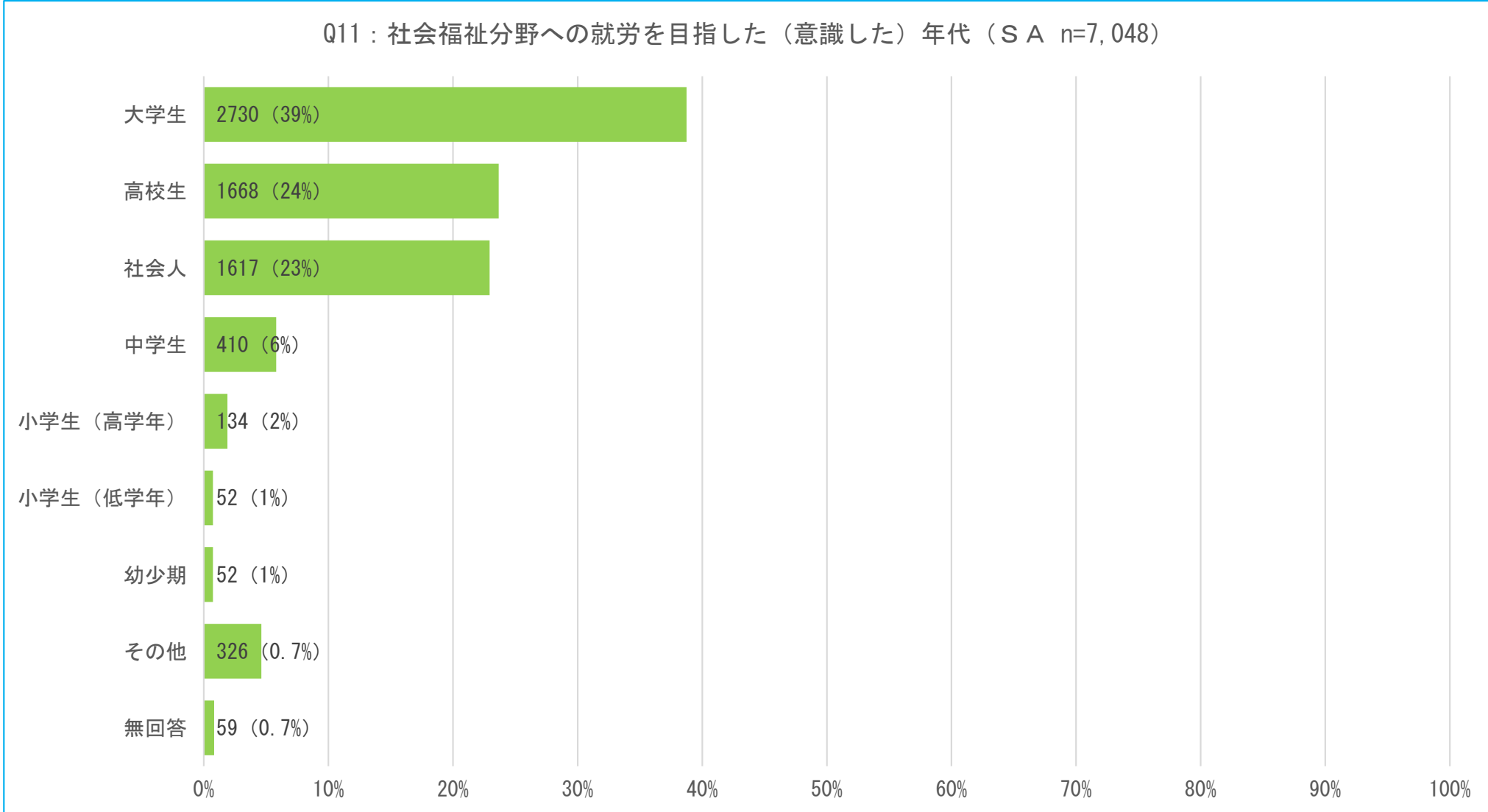
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑧

Q10：社会福祉分野の学校で学ぶことを目指した理由について聞いたところ、「1. 人の役に立ちたい」と回答した者が48%で最も多く、次いで「7. 社会で重要な仕事だと思った」33%、「2. 人と関わるのが好き」24%、「3. 親族・友人等が福祉の支援を受けた人がいた」14%の順となっている。「親族」「学校の先生」「友人」に進められたと回答した者はいずれも6%以下であった。



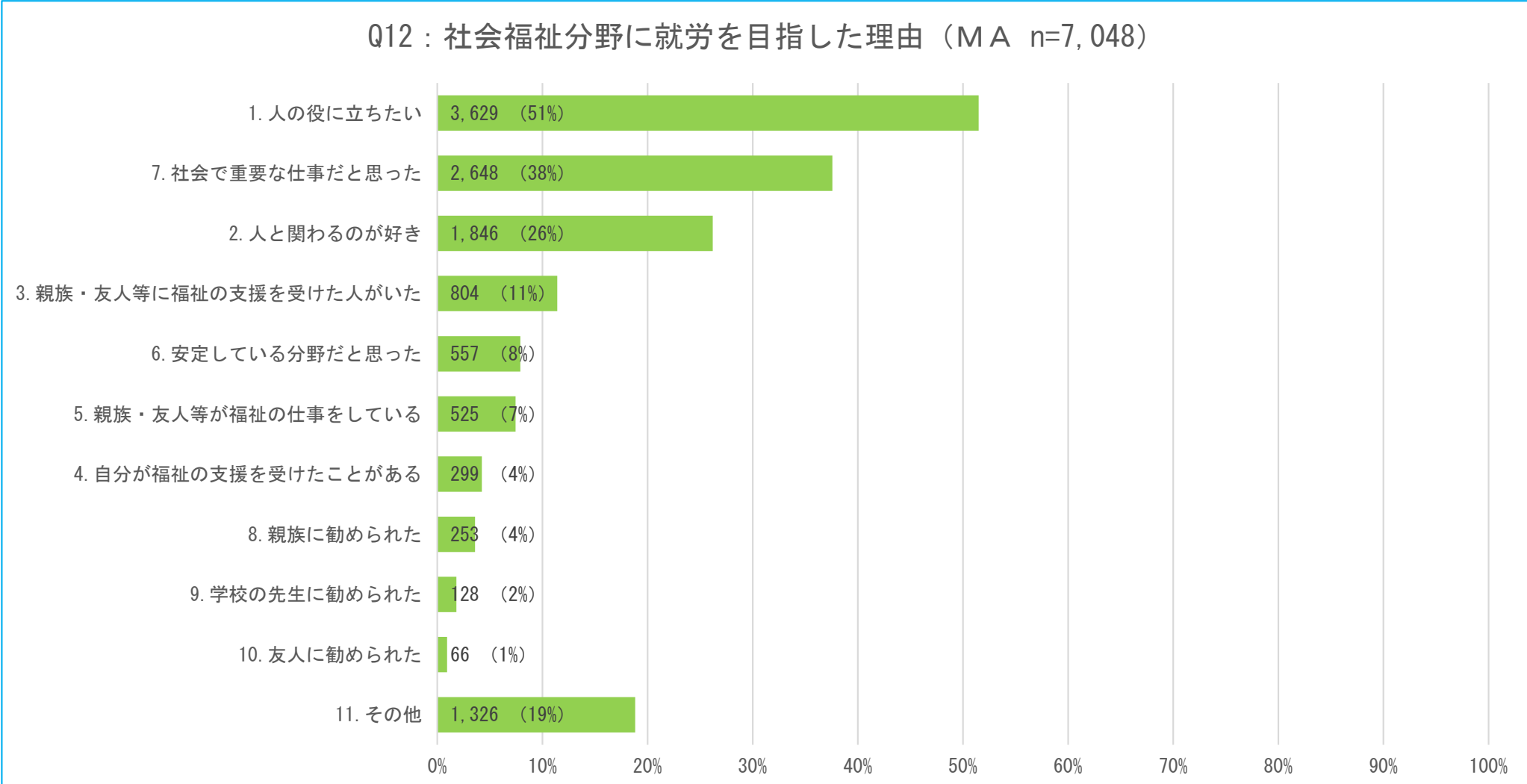
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑨

Q11：社会福祉分野への就労を目指した（意識した）年代について聞いたところ、大学生が39%と最も多く、次いで高校生24%、社会人23%、中学生6%の順であった。小学生以下と回答した者はそれぞれ2%未満であった。



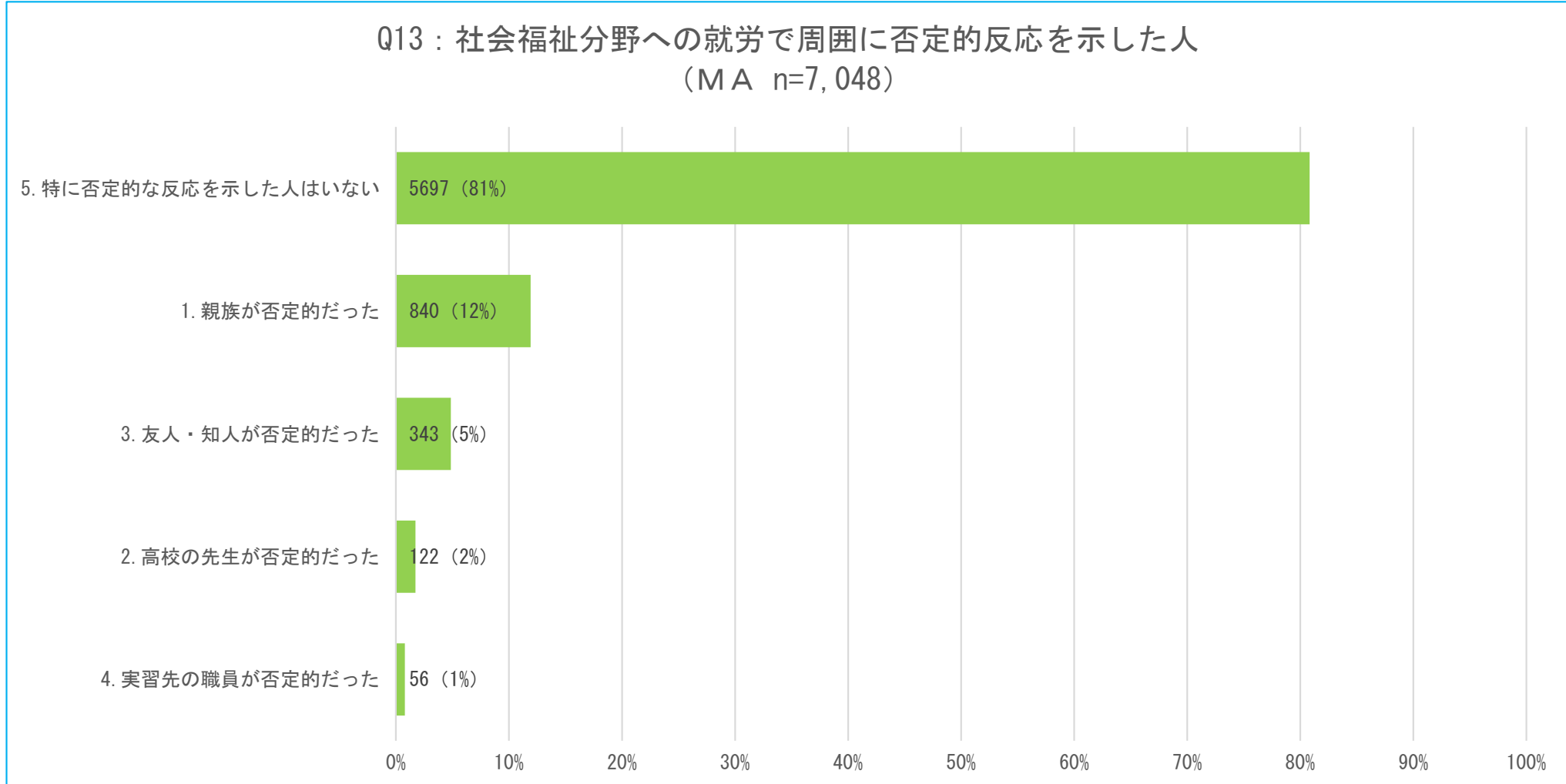
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑩

Q12：社会福祉分野での就労を目指した理由について聞いたところ、「1. 人の役に立ちたい」と回答した者が51%で最も多く、次いで「7. 社会で重要な仕事だと思った」38%、「2. 人と関わるのが好き」26%、「3. 親族・友人等が福祉の支援を受けた人がいた」11%の順となっている。「親族」「学校の先生」「友人」に進められたと回答した者はいずれも5%以下であった。



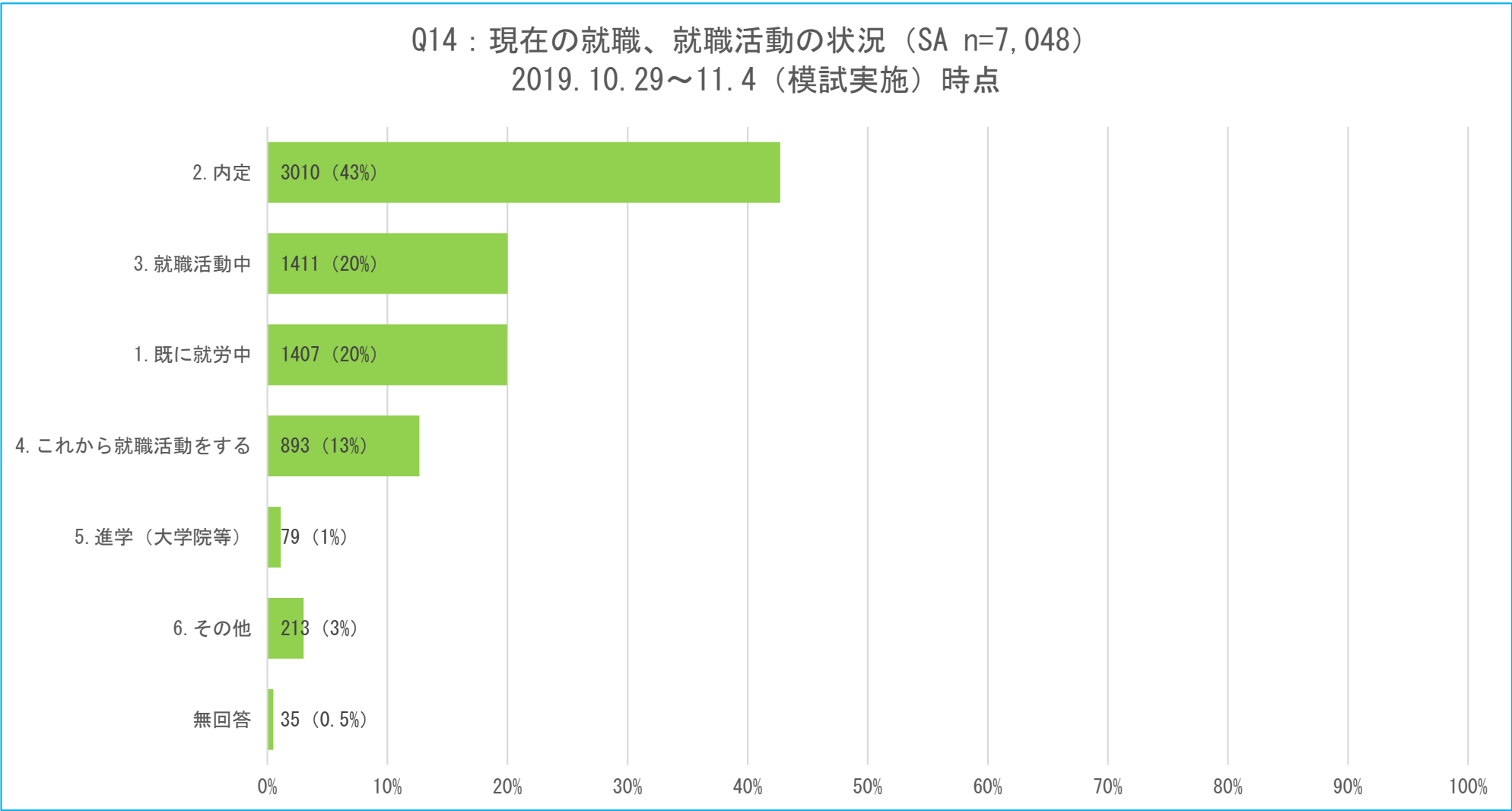
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑪

Q13：社会福祉分野への就労や学校（養成校）を目指した際、周囲に否定的な反応を示した者がいるか聞いたところ、「特に否定的な反応を示した人はいない」と回答した者が81%と最も多く、次いで「1. 親族が否定的だった」が12%であった。「友人・知人」「高校の先生」「実習先の職員」からそれぞれ否定的な反応を示した者がいると回答した者は、いずれも5%未満であった。



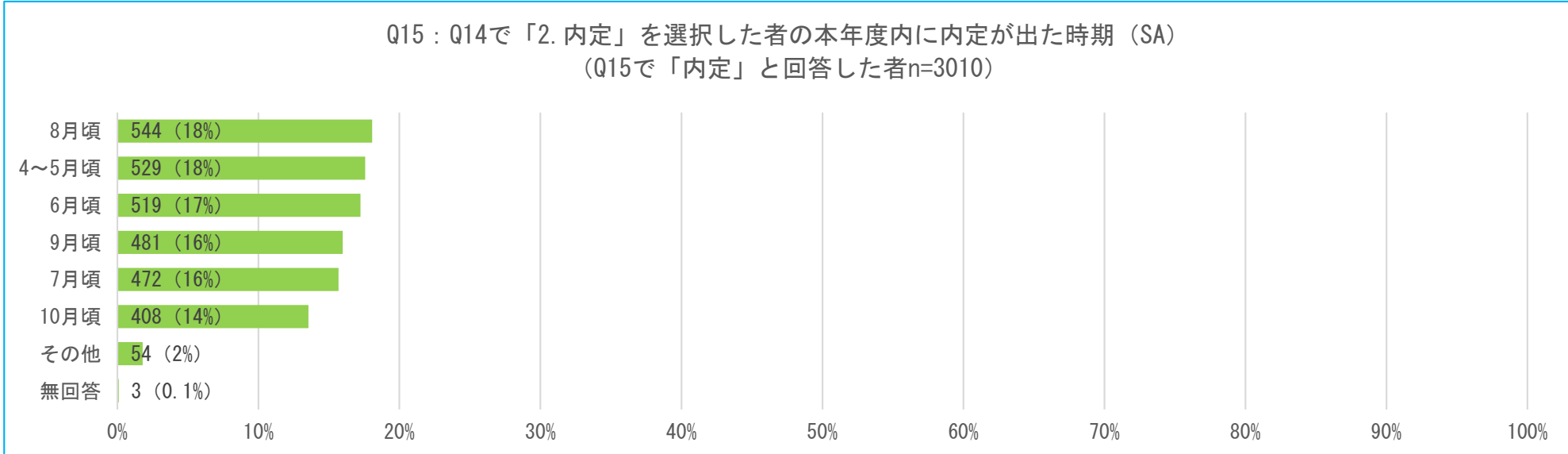
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑫

Q14：現在（2019.10.29～11.4（模試実施）時点）の就職、就職活動の状況について聞いたところ、「2.内定」が43%、「3.就職活動中」が20%、「1.既に就労中」が20%、「4.これから就職活動をする」が13%で、調査時点の「就労中」と「内定」の合計は63%であった。一方、調査時点である10月下旬において就職が決まっていない「就職活動中」と「これから就職活動をする」者の合計は33%であった。

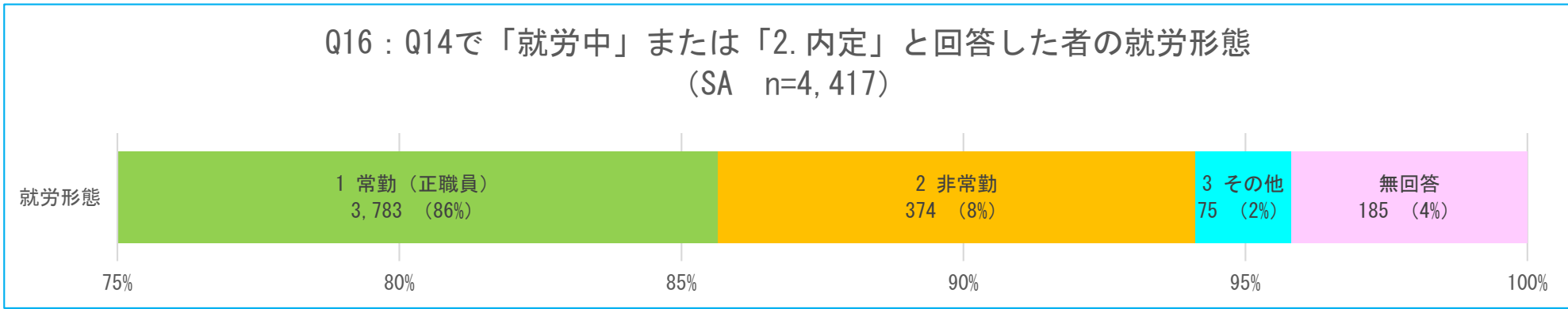


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑬

Q15：Q14で「2. 内定」と回答した者（n=3,010）に、今年度に内定が出た時期を聞いたところ、4月頃から9月頃までそれぞれ16%～18%の間で分散している。

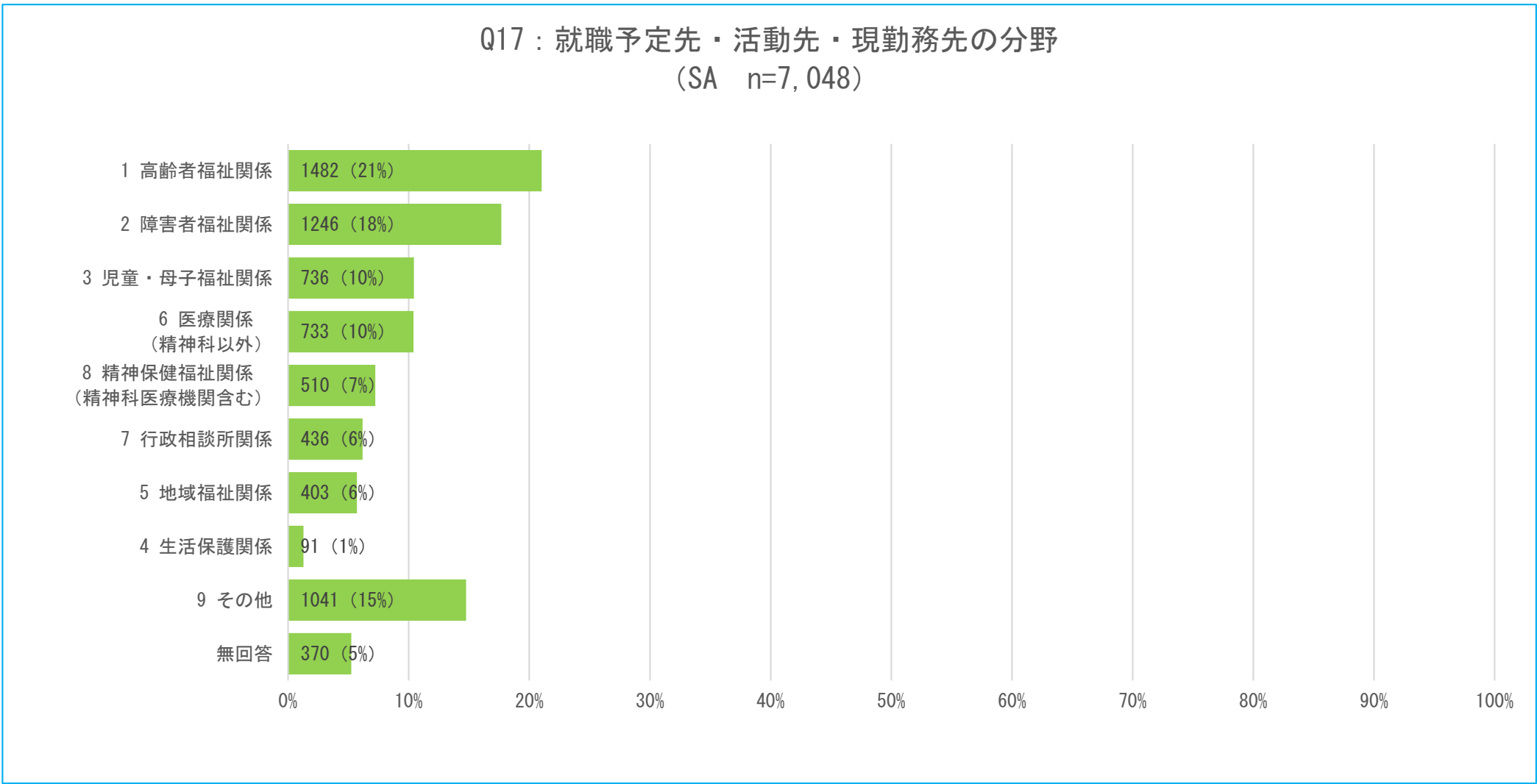


Q16：Q14で「1. 既に就労」「2. 内定」と回答した者（n=4,417）に、就労形態について聞いたところ、「1 常勤（正職員）」と回答した者は86%、「2 非常勤」は8%であった。



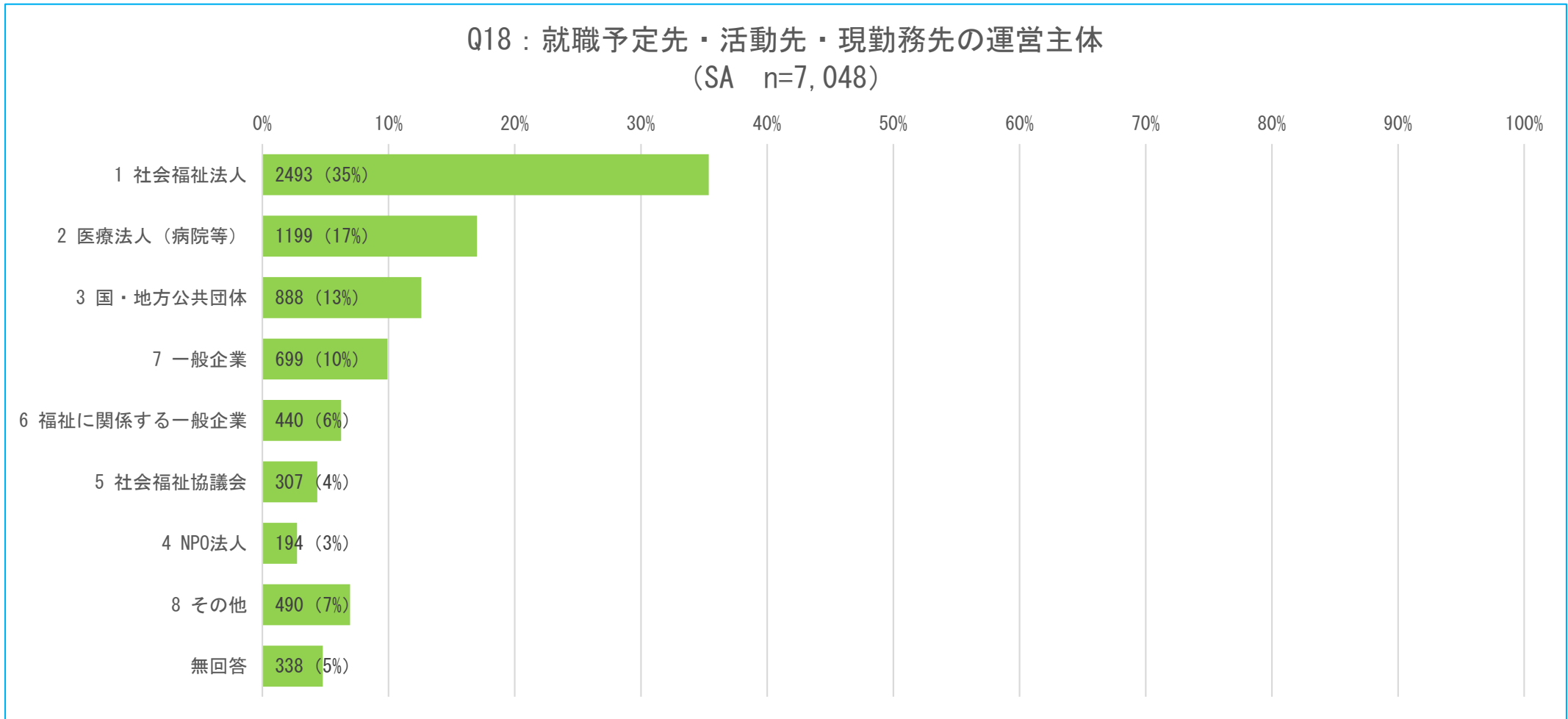
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑭

Q17：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）の分野について聞いたところ、「1. 高齢者福祉関係」が21%で最も多く、次いで「2. 障害者福祉関係」18%、「3. 児童・母子福祉関係」10%、「6. 医療関係（精神科医外）」10%、「8. 精神保健福祉関係」7%、「7. 行政相談所関係」6%、「5. 地域福祉関係」6%、「4. 生活保護関係」1%の順となっている。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑮

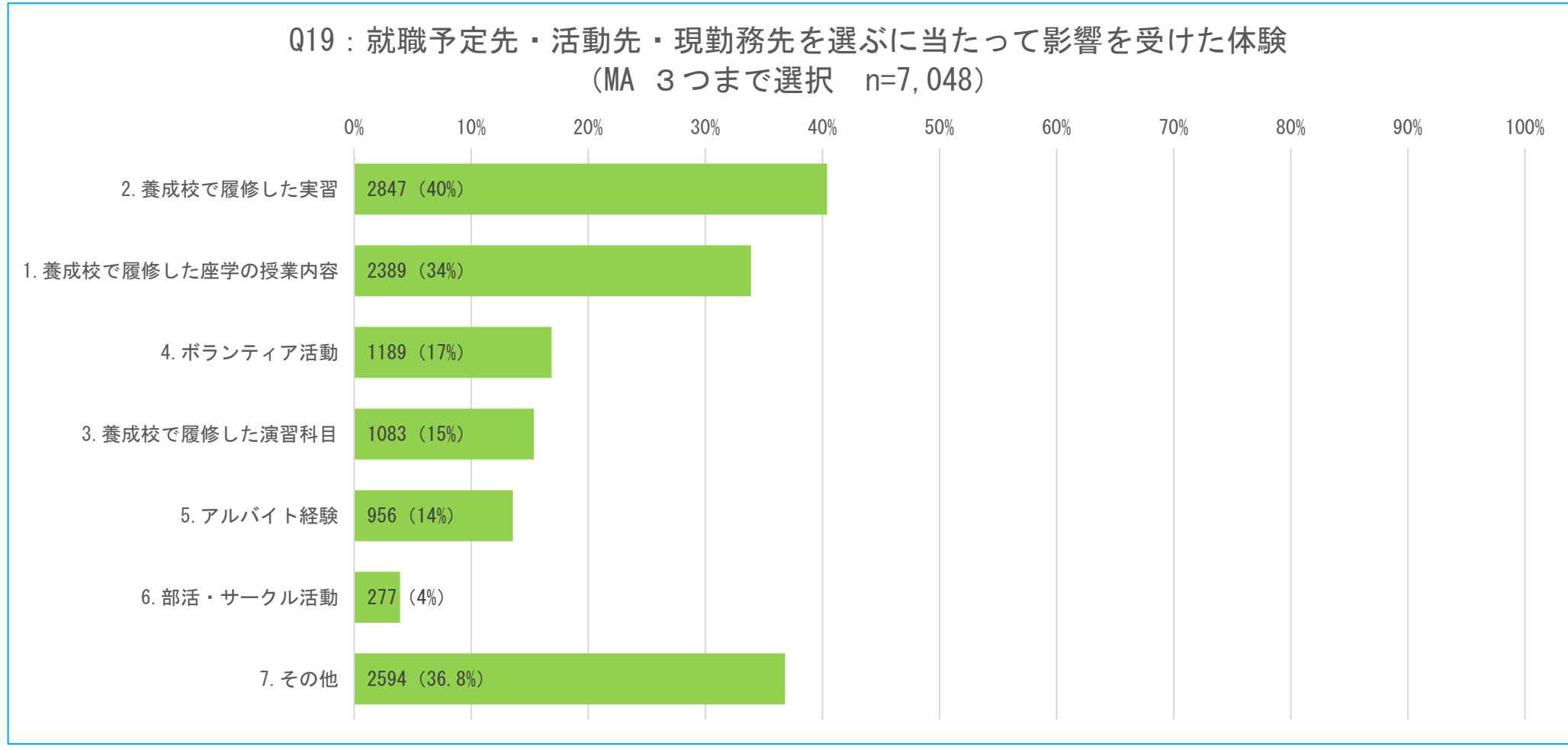
Q18：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）の運営主体について聞いたところ、「1. 社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）」が35%で最も多く、次いで「2. 医療法人」17%、「3. 国・地方公共団体」13%、「7. 一般企業」10%、「6. 福祉に関する一般企業」6%、「5. 社会福祉協議会」4%、「4. NPO法人」3%の順となっている。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑬

Q19：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた体験を聞いたところ、「2. 学校（養成校）で履修した実習」が40%と最も多く、次いで「1. 養成校で履修した座学の授業内容」34%、「4. ボランティア活動」17%、「3. 養成校で履修した演習科目」15%、「5. アルバイト経験」14%の順であった。

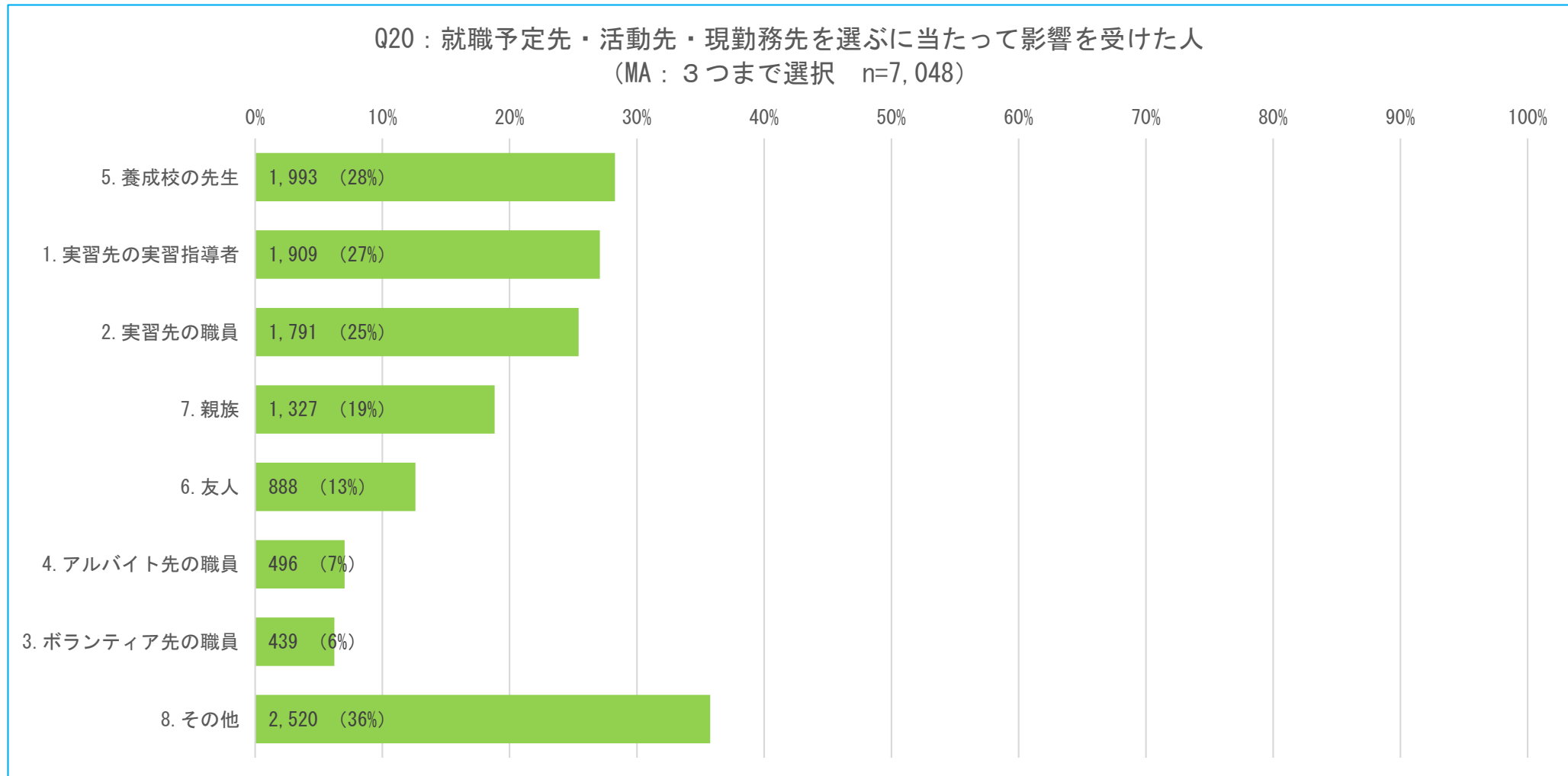
<メモ> 2020年度の本事業本格実施に向け、【その他が多い要因を再検討する】



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑰

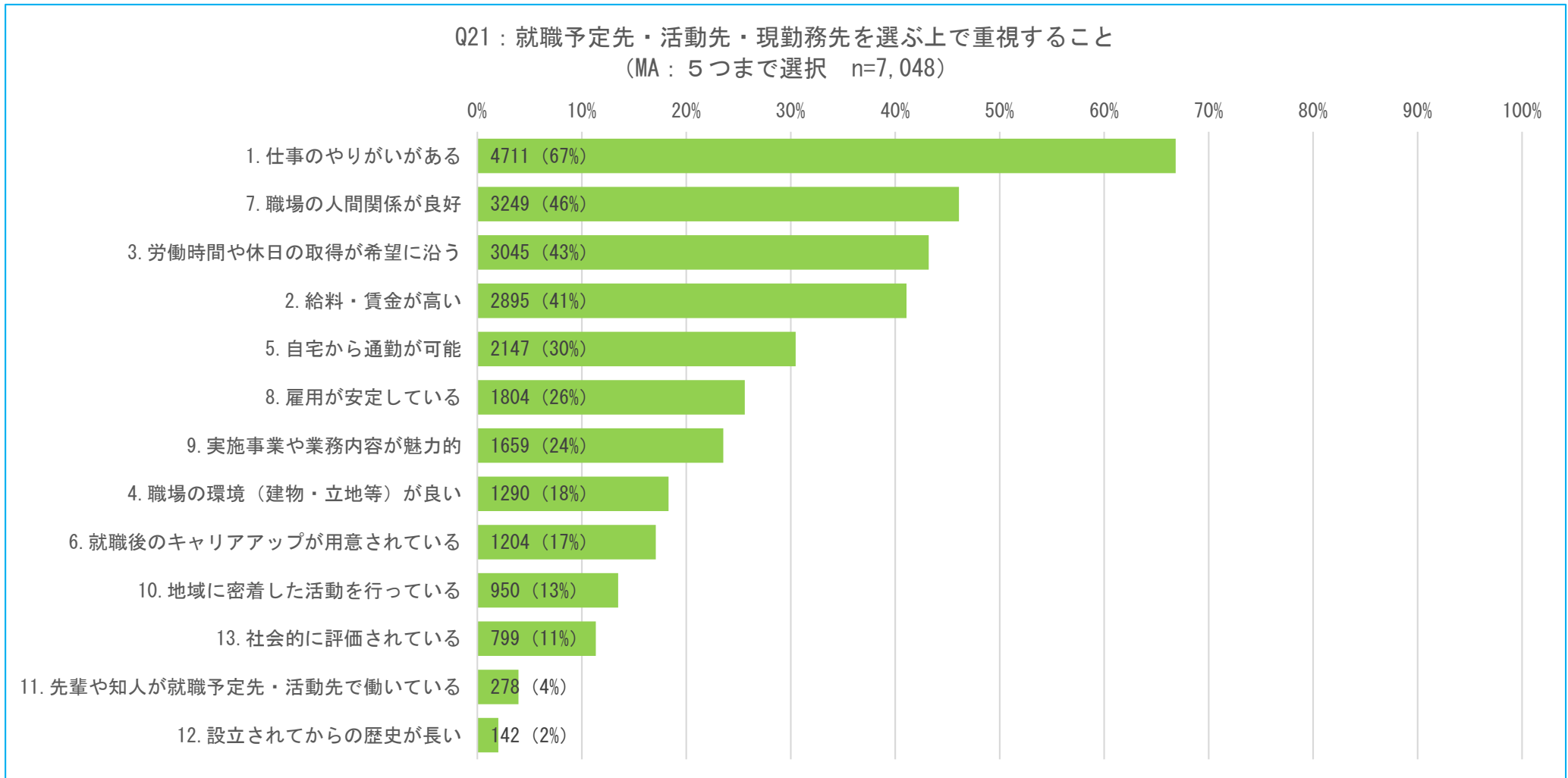
Q20：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた人について聞いたところ、「5. 養成校の先生」、「1. 実習先の実習指導者」、「2. 実習先の職員」と回答した者がそれぞれ28%、27%、25%となっており、次いで「7. 親族」19%、「6. 友人」13%の順となっている。

<メモ> 【その他が多い要因を検討する】2020年度の本事業本格実施に向け、「利用者」等の項目が欠落していたので、以後の調査では再検討して必要項目を追加する予定。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑱

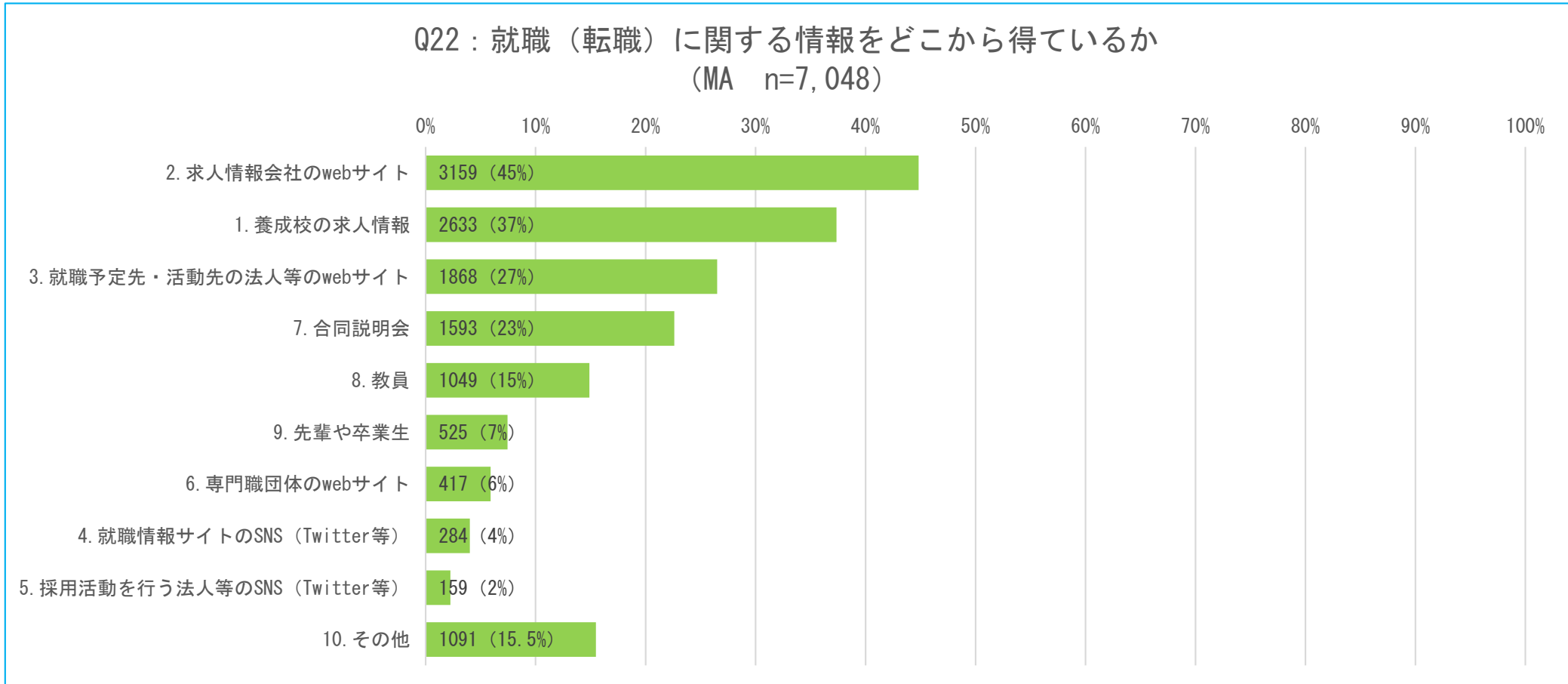
Q21：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）を選ぶ上で重視することについて聞いたところ、上位5項目では、「1. 仕事のやりがいがある」と回答した者が67%で最も多く、次いで「7. 職場の人間関係が良好」46%、「3. 労働時間や休日の取得が希望に沿う」43%、「2. 給料・賃金が高い」41%、「5. 自宅から通勤が可能」30%の順となっている。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑱

Q22：就職（就労中の者は転職）に関する情報をどこから得ているか聞いたところ、「2. 求人情報会社のwebサイト」と回答した者が45%と最も多く、次いで「1. 養成校の求人情報」37%、「3. 就職予定先・活動先の法人等のwebサイト」27%、「7. 合同説明会」23%、「8. 教員」15%の順であった。

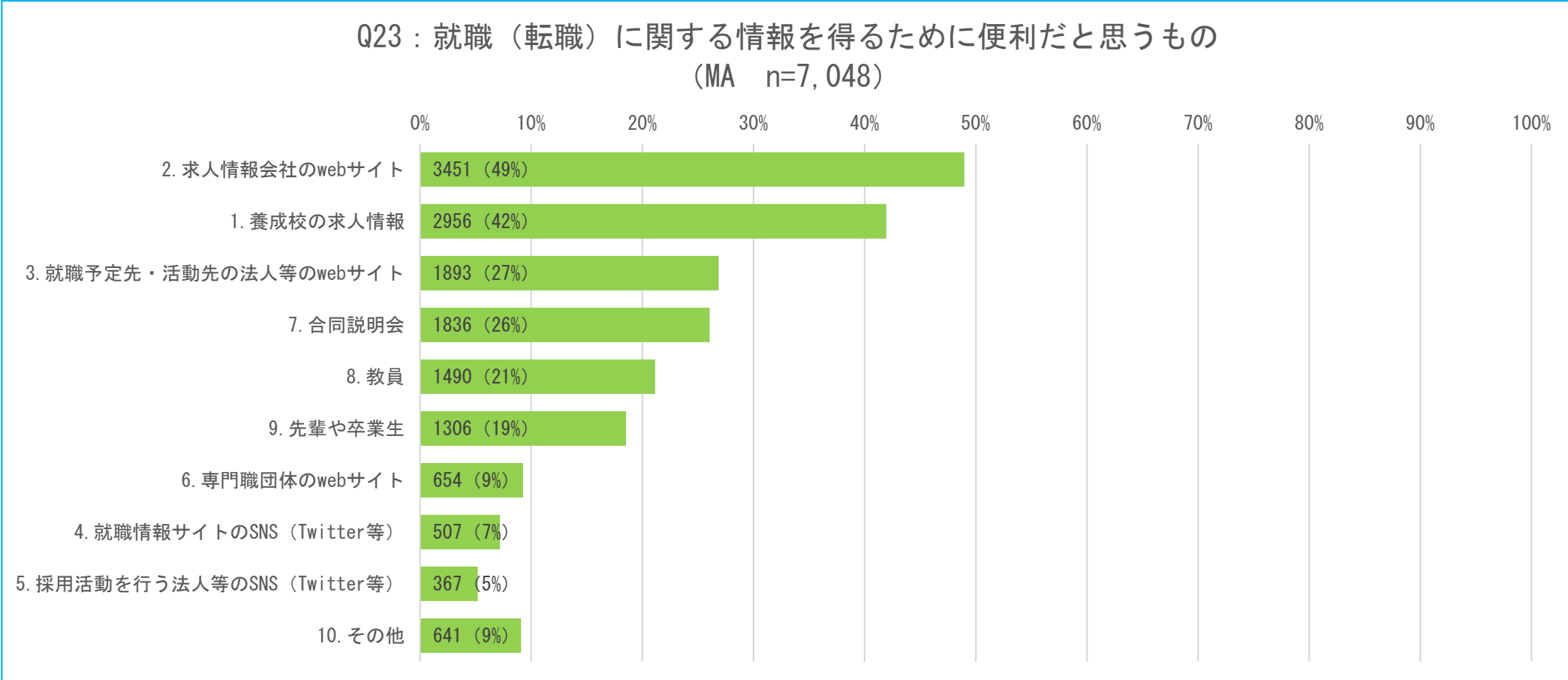
<メモ> 【その他が多い要因を検討する】 2020年度の本事業本格実施に向け、「都道府県の福祉人材センター」・「福祉の仕事（中央福祉人材センター）」・「ハローワーク」・「インターンシップ」・「都道府県の就職フォーラム」等の項目が欠落していたので、以後の調査では再検討して必要項目を追加する予定。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑩

Q23：就職（就労中の者は転職）に関する情報をどこから得るために、便利だと思うことを聞いたところ、「2. 求人情報会社のwebサイト」と回答した者が49%と最も多く、次いで「1. 養成校の求人情報」42%、「3. 就職予定先・活動先の法人等のwebサイト」27%、「7. 合同説明会」26%、「8. 教員」21%、「9. 先輩や卒業生」19%の順であった。

<メモ> 2020年度の本事業本格実施に向け、「都道府県の福祉人材センター」・「福祉の仕事（中央福祉人材センター）」・「ハローワーク」・「インターンシップ」・「都道府県の就職フォーラム」等の項目が欠落していたので、以後の調査では再検討して必要項目を追加する予定。



これ以降はアンケートの質問紙です。

試験中は開かないでください。

試験終了後、試験官の指示に従って回答してください。

〈実施するアンケート〉

A. 模擬試験難易度アンケート

あなたが受験した科目に関して、それぞれあなたの印象に最も近い評価の数字をマークシートに従って塗りつぶしてください。なお、受験していない科目は、空欄で構いません。

本アンケートの回答内容は、12月上旬に郵送するあなたの成績表に記載されます。本アンケートに回答いただくことで、科目毎にあなたの解いたときの難易度の印象と、あなたの成績結果の比較をすることができます。問題の難易度の感触と得点の実態を把握して、国家試験に向けた試験対策にお役立てください。

なお、本アンケートへの回答は、任意です。回答の有無あるいは内容によって、あなたに不利益が生じることはありません。本アンケートへの回答をもって、趣旨への同意を得られたものとさせていただきます。

B. 進路意向（就労状況）アンケート

【アンケートの目的およびアンケート実施主体】

本アンケートは、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が、養成校在学者及び既卒者の進路意向及び就労の状況を把握し、今後の福祉人材確保対策推進及び社会福祉分野への進学推進の参考資料、今後のソーシャルワーク教育の充実のための参考資料とすることを目的として、実施するものです。なお、本調査で得たデータは、統計的処理をしたうえで、報告書等で公表します。個人が特定できる形式での公表はいたしません。

【アンケート対象】

アンケート対象は、日本ソーシャルワーク教育学校連盟が実施する「2019年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」の受験者とし、マークシート形式のアンケート用紙に回答いただくものとします。回答はすべて統計的に処理しますので、個別の氏名、学校名、受験番号、各自の模擬試験の得点、問題の解答番号等が明らかになることは一切ありません。また、上記目的以外に使用することも一切ありません。

なお、本アンケートへの回答は、任意です。回答の有無あるいは内容によって、あなたに不利益が生じることはありません。本アンケートへの回答をもって、趣旨への同意を得られたものとさせていただきます。

(注) 上記アンケートA及びBの回答マークシートは1枚にまとまっています。

続けて回答してください。

A. 模擬試験難易度アンケート

あなたが受験した以下の[1]～[25]の科目に関して、それぞれあなたの印象(簡単か・難しいか)に最も近い評価の数字をマークシートに従って塗りつぶしてください。

[1] 人体の構造と機能及び疾病	[14] 相談援助の理論と方法
[2] 心理学理論と心理的支援	[15] 福祉サービスの組織と経営
[3] 社会理論と社会システム	[16] 高齢者に対する支援と介護保険制度
[4] 現代社会と福祉	[17] 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
[5] 地域福祉の理論と方法	[18] 就労支援サービス
[6] 福祉行財政と福祉計画	[19] 更生保護制度
[7] 社会保障	[20] 精神疾患とその治療
[8] 障害者に対する支援と障害者自立支援制度	[21] 精神保健の課題と支援
[9] 低所得者に対する支援と生活保護制度	[22] 精神保健福祉相談援助の基盤
[10] 保健医療サービス	[23] 精神保健福祉の理論と相談援助の展開
[11] 権利擁護と成年後見制度	[24] 精神保健福祉に関する制度とサービス
[12] 社会調査の基礎	[25] 精神障害者の生活支援システム
[13] 相談援助の基盤と専門職	

B. 進路意向(就労状況)アンケート

Q1 あなたの年齢(年代)を選んでください。

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60代 6 70代以上

Q2 国家試験の受験予定について、当てはまるものを1つを選んでください。

- 1 来年(2020年)2月の国家試験を受験する 2 再来年(2021年)以降の国家試験を受験する
3 国家試験を受験する予定はない

Q3 上記Q2で1又は2を選んだ方にお伺いします。受験予定の国家試験を選んでください。(複数回答可)

- 1 社会福祉士国家試験 2 精神保健福祉士国家試験

【実習に関する質問】 注:実習とは社会福祉福祉士・精神保健福祉士を取得するための「相談援助実習」を指します

Q4 あなたは学校(養成校)で実習(社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を得るために必要な実習)を行いましたか? 当てはまるものを1つを選んでください。

- 1 行った → Q5へ進む 2 実習中 → Q5へ進む 3 行っていない(実習免除など) → Q9へ進む

Q5 あなたが学校(養成校)で実習を行った分野をすべてを選んでください。(複数回答可)

- 1 高齢者福祉関係 2 障害者福祉関係 3 児童・母子福祉関係 4 生活保護関係 5 地域福祉関係
6 医療関係(精神科以外) 7 行政相談所関係 8 精神保健福祉関係(精神科医療機関を含む) 9 その他

Q6 就職予定先・就職活動先(就労されている方は現在勤務先)の選択にあたり、実習の経験から肯定的な影響(実習経験と同様の就職先を選ぶ)を受けましたか、それとも否定的な影響(実習経験と同様の就職先を避ける)を受けましたか。当てはまるものを1つを選んでください。

- 1 肯定的な影響を受けた 2 どちらかという肯定的な影響を受けた
3 どちらかという否定的な影響を受けた 4 否定的な影響を受けた
5 特に影響を受けなかった

Q7 上記 Q6 で 1、2、3、4(5 以外)を選択した方にお伺いします。誰または何から影響を受けたかについて当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 実習を行った施設・機関に影響を受けた | 2 実習先の実習指導者に影響を受けた |
| 3 実習先の職員(実習指導者以外)に影響を受けた | |
| 4 実習先の利用者等に影響を受けた | 5 実習先が立地する地域に影響を受けた |

Q8 上記 Q6 で 1 または 2 を選択した方にお伺いします。就職予定先・就職活動先(就労されている方は現在勤務先)の選択に関して、当てはまるもの1つを選んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1 実習を行った施設・機関に就職したいと考えている |
| 2 実習を行った施設・機関に就職した(内定含む) |

【学校(養成校)、進路選択に関する質問】

Q9 あなたが社会福祉分野の学校(養成校)で学ぶことを目指した(意識した)年代を 1つ を選んでください。

- | | | | |
|-------|------------|------------|-------|
| 1 幼少期 | 2 小学生(低学年) | 3 小学生(高学年) | 4 中学生 |
| 5 高校生 | 6 大学生 | 7 社会人 | 8 その他 |

Q10 あなたが社会福祉分野の学校(養成校)で学ぶことを目指した理由を選んでください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1 人の役に立ちたいから | 2 人と関わるのが好きだから | 3 親族・友人等に福祉の支援を受けた人がいたから |
| 4 自分が福祉の支援を受けたことがあるから | 5 親族・友人等が福祉の仕事をしているから | |
| 6 安定している分野だと思ったから | 7 社会で重要な仕事だと思ったから | 8 親族に勧められたから |
| 9 学校の先生に勧められたから | 10 友人に勧められたから・誘われたから | 11 その他 |

Q11 あなたが社会福祉分野への就労を目指した(意識した)年代を 1つ を選んでください。

- | | | | |
|-------|------------|------------|-------|
| 1 幼少期 | 2 小学生(低学年) | 3 小学生(高学年) | 4 中学生 |
| 5 高校生 | 6 大学生 | 7 社会人 | 8 その他 |

Q12 あなたが社会福祉分野での就労を目指した理由を選んでください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1 人の役に立ちたいから | 2 人と関わるのが好きだから | 3 親族・友人等に福祉の支援を受けた人がいたから |
| 4 自分が福祉の支援を受けたことがあるから | 5 親族・友人等が福祉の仕事をしているから | |
| 6 安定している分野だと思ったから | 7 社会で重要な仕事だと思ったから | 8 親族に勧められたから |
| 9 学校の先生に勧められたから | 10 友人に勧められたから・誘われたから | 11 その他 |

Q13 あなたが社会福祉分野への就労や学校(養成校)を目指した際、周囲に否定的な反応を示した方はいましたか。当てはまる人を選んでください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|-----------------------|----------------|
| 1 親族が否定的だった | 2 高校の先生が否定的だった | 3 友人・知人が否定的だった |
| 4 実習先の職員が否定的だった | 5 特に否定的な反応を示した人はいなかった | |

【就職、就職活動に関する質問】

Q14 あなたの現在の就職、就職活動の状況を 1つ を選んでください。

- | | | | | | |
|---------|------|---------|---------------|------------|-------|
| 1 既に就労中 | 2 内定 | 3 就職活動中 | 4 これから就職活動をする | 5 進学(大学院等) | 6 その他 |
|---------|------|---------|---------------|------------|-------|

Q15 上記 Q14 で 2 を選択した方にお伺いします。本年度に内定が出た時期を 1つ を選んでください。

- | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 1 4月～5月頃 | 2 6月頃 | 3 7月頃 | 4 8月頃 | 5 9月頃 | 6 10月頃 | 7 その他 |
|----------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|

Q16 上記 Q14 で 1 または 2 を選択した方にお伺いします。就労形態を 1 つ選んでください。

- 1 常勤（正職員） 2 非常勤 3 その他

Q17 あなたの就職予定先・就職活動先(就労されている方は現在勤務先)の分野を 1 つ選んでください。

- 1 高齢者福祉関係 2 障害者福祉関係 3 児童・母子福祉関係 4 生活保護関係 5 地域福祉関係
6 医療関係（精神科以外） 7 行政相談所関係 8 精神保健福祉関係（精神科医療機関を含む） 9 その他

Q18 あなたの就職予定先・就職活動先(就労されている方は現在勤務先)の運営主体を 1 つ選んでください。

- 1 社会福祉法人（社会福祉協議会を除く） 2 医療法人（病院等） 3 国・地方公共団体
4 特定非営利活動法人（NPO 法人） 5 社会福祉協議会 6 福祉に関係する一般企業 7 一般企業 8 その他

Q19 あなたが就職予定先・就職活動先(就労されている方は現在勤務先)を選ぶにあたって影響を受けた体験のうち、当てはまるもの 3 つまで選んでください。

- 1 学校（養成校）で履修した座学の授業の内容 2 学校（養成校）で履修した実習
3 学校（養成校）で履修した演習科目 4 ボランティア活動 5 アルバイト経験
6 部活・サークル活動 7 その他

Q20 あなたが就職予定先・就職活動先(就労されている方は現在勤務先)を選ぶにあたって影響を受けた人のうち、当てはまるもの 3 つまで選んでください。

- 1 実習先の実習指導者 2 実習先の職員 3 ボランティア先の職員 4 アルバイト先の職員
5 学校（養成校）の先生 6 友人 7 親族 8 その他

Q21 あなたが就職予定先・就職活動先(就労されている方は現在勤務先)を選ぶ上で重視することについて、当てはまるもの 5 つまで選んでください。

- 1 仕事のやりがいがある 2 給料・賃金が高い 3 労働時間や休日の取得が希望に沿う
4 職場の環境（建物・立地等）が良い 5 自宅から通勤が可能
6 就職後のキャリアアップが用意されている 7 職場の人間関係が良好 8 雇用が安定している
9 実施事業や業務内容が魅力的である 10 地域に密着した活動を行っている
11 先輩や知人が就職予定先・就職活動先で働いている
12 設立されてからの歴史が長い 13 社会的に評価されている

Q22 就職(就労されている方は転職)に関する情報をどこから得ていますか。(複数回答可)

- 1 学校（養成校）の求人情報 2 求人情報会社のウェブサイト
3 就職予定先・就職活動先の法人等のウェブサイト 4 就職情報サイトの SNS（Twitter や Instagram 等）
5 採用活動を行う法人等の SNS（Twitter や Instagram 等） 6 専門職団体のウェブサイト 7 合同説明会
8 教員 9 先輩や卒業生 10 その他

Q23 就職(就労されている方は転職)に関する情報を得るために、便利だと思うものはなんですか。(複数回答可)

- 1 学校（養成校）の求人情報 2 求人情報会社のウェブサイト
3 就職予定先・就職活動先の法人等のウェブサイト 4 就職情報サイトの SNS（Twitter や Instagram 等）
5 採用活動を行う法人等の SNS（Twitter や Instagram 等） 6 専門職団体のウェブサイト 7 合同説明会
8 教員の情報提供 9 先輩や卒業生の情報提供 10 その他